

手直し奉行 ユーザーガイド

手直し奉行 をインストールする前に必ずお読みください。



アルファテック株式会社

本ユーザーガイドについて

- このユーザーガイドは手直し奉行（以下、本ソフト）のインストールや概要について説明するものです。
- 本ソフトは DWG ファイルをスクリプトファイルで編集するユーティリティです。起動する ベース CAD となる AutoCAD、BricsCAD は別途、ご購入ください。
- 本ソフトを使用する前に、Windows や AutoCAD、BricsCAD、ネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください。
- このユーザーガイド中の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合があります。

ご注意

- 本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

Autodesk、Autodesk ロゴ、および AutoCAD は米国 Autodesk 社の登録商標です。
Autodesk, the Autodesk logo, and AutoCAD are registered trademarks of Autodesk, Inc.

BricsCAD やそのロゴは Bricsys nv の商標または登録商標です。

<<このページは白紙です>>

目次

I. 概要.....	1
1. 動作環境	2
2. 製品構成	3
II. インストール	5
1. インストールの前に	6
1. ベース CAD のインストール	6
2. インストール前に使用中のアプリケーションを終了する	6
3. インストールメディアについて	6
2. インストール	7
1. インストーラの起動	7
2. 使用許諾契約	8
3. インストールするフォルダの選択	8
4. 追加機能の選択	9
5. インストールの開始	9
6. インストールの完了	10
3. 手直し奉行の初期設定と起動	11
1. 起動するベース CAD の選択	11
2. テンプレートの保存先	12
3. 手直し奉行の起動	12
III. スタンドアロンライセンス (アクティベート).....	13
1. 概要	14
2. ライセンス形式の設定 (クライアント)	15
1. ライセンスをアクティベート	15
2. ライセンス更新	18
3. アクティベート解除	20
IV. フローティングライセンス (FlexNet ライセンス管理サービス).....	23
1. インストール(サーバー)	24
1. 動作環境	24
2. FlexNet ライセンス管理サービスのインストール	25
2. ライセンスサービスの起動(サーバー)	29

1.	ライセンスファイルのコピー	29
2.	LMTOOLS の実行	29
3.	LMTOOLS の設定開始	29
4.	Config Services の設定	29
5.	サービスの設定値の保存	30
6.	サービスの開始	31
7.	動作確認	31
3.	Windows ファイアウォールの設定(サーバ)	32
1.	ポート番号の確認	32
2.	Windows ファイアウォールへの例外登録	33
4.	ライセンス形式の設定(クライアント)	39
1.	フローティングライセンスの設定	39
2.	ライセンスモニタによる確認	41
3.	ライセンスの自動回収について	42
5.	ライセンスの借用・返却(クライアント)	44
1.	概要	44
2.	ライセンス借用の手順	44
3.	借用期限前にライセンスを返却	48

V.	付録	51
1.	インストールメディアの内容について	52
2.	マニュアル	53
1.	手直し奉行ヘルプ	53
2.	ユーザーガイド	53

I. 概要

1. 動作環境

本ソフトは DWG ファイルをスクリプトファイルで編集するユーティリティです。起動する ベース CAD となる AutoCAD、BricsCAD は別途、ご購入ください。

対応 CAD

AutoCAD 2007 以降

(注) AutoCAD LT シリーズは、オートデスク社の方針によりカスタマイズコマンドの実行ができないため、対応しておりません。

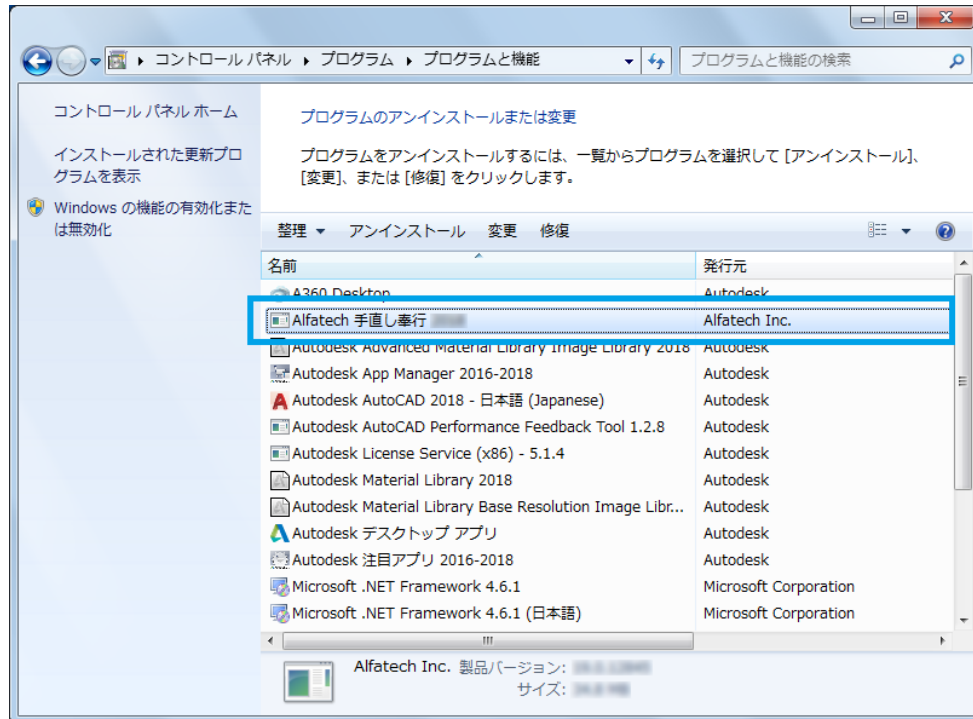
Bricscad V10～

(注) BricsCAD は弊社からご案内させていただくバージョンが必要です。

対応 OS

Windows 7 SP1(32bit/64bit)、Windows 8/8.1(32bit/64bit) 、Windows 10(32bit/64bit)

2. 製品構成



プログラムの名前は以下のとおりです。

32bit 版: Alfatech 手直し奉行

64bit 版: Alfatech 手直し奉行 (x64)

<<このページは白紙です>>

II. インストール

インストールについて説明します。

Administrator または管理者権限のあるユーザでログオンしてください。

1. インストールの前に

1. ベース CAD のインストール

本ソフトは DWG ファイルをスクリプトファイルで編集するユーティリティです。
あらかじめ DWG ファイルを扱うベース CAD となる AutoCAD や BricsCAD をインストールし、正常に動作することも確認ください。

2. インストール前に使用中のアプリケーションを終了する

本ソフトをインストールする前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。また、ウイルスチェック プログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、必ず終了させてから本ソフトのインストールを行ってください。

3. インストールメディアについて

インストールメディアである DVD には、32bit 版と 64bit 版の両方が含まれています。

インストールメディアを DVD ドライブに挿入すると、OS が 32bit か 64bit か、またはすでにインストールされている製品が 32bit 版か 64bit 版かで自動的に該当インストーラを起動します。

自動的に起動しないときは、エクスプローラ等で DVD 内の **Setup.exe** をダブルクリックして起動してください。

2. インストール

この章の説明にしたがって本ソフトをインストールしてください。

1. インストーラの起動

インストールするメディアを DVD ドライブに挿入すると、自動的にインストーラが起動します。

自動的に起動しないときは、エクスプローラ等で DVD 内の Setup.exe をダブルクリックして起動してください。

手直し奉行のインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。



2. 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。



すべての条項に同意いただける場合は **[同意する (A)]** を選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

3. インストールするフォルダの選択

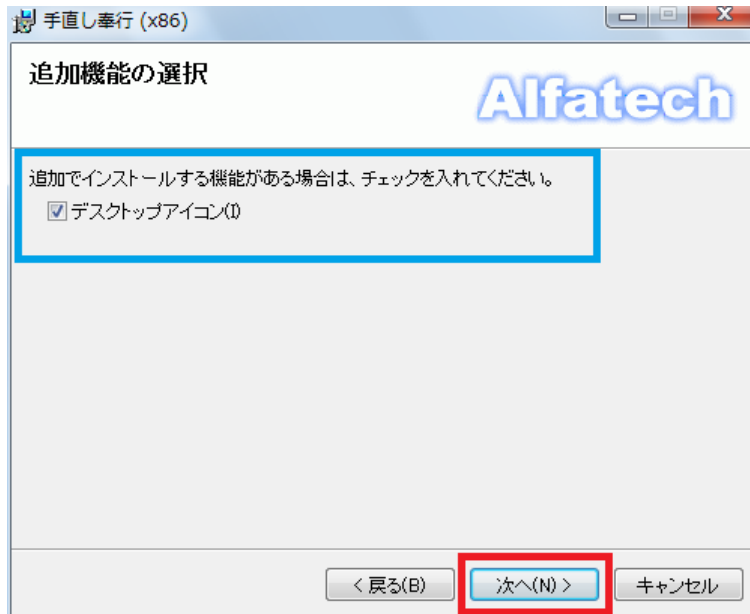
Alfatech 製品をインストールするフォルダを選択してください。

(注)先に ACAD-DENKI などの Alfatech 製品をインストールされた場合は、「インストール フォルダの選択」は表示されません。[4 追加機能の選択] 以降をご参照ください。



インストールするフォルダを選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

4. 追加機能の選択



追加インストールする機能を確認の上、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

5. インストールの開始



[次へ (N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

6. インストールの完了



手直し奉行のインストールは完了です。

【閉じる(c)】ボタンをクリックし、手直し奉行のインストーラを終了します。

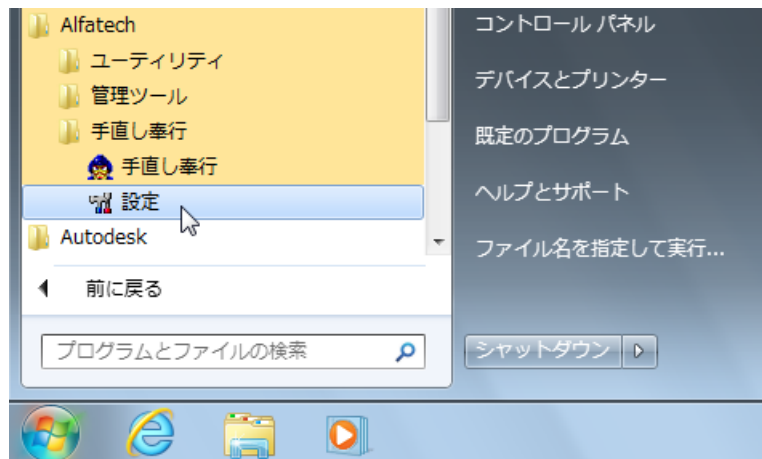
次に本ソフトの起動方法について、以下の項目へ進んでください。

👉 「3. 手直し奉行の初期設定と起動」へ

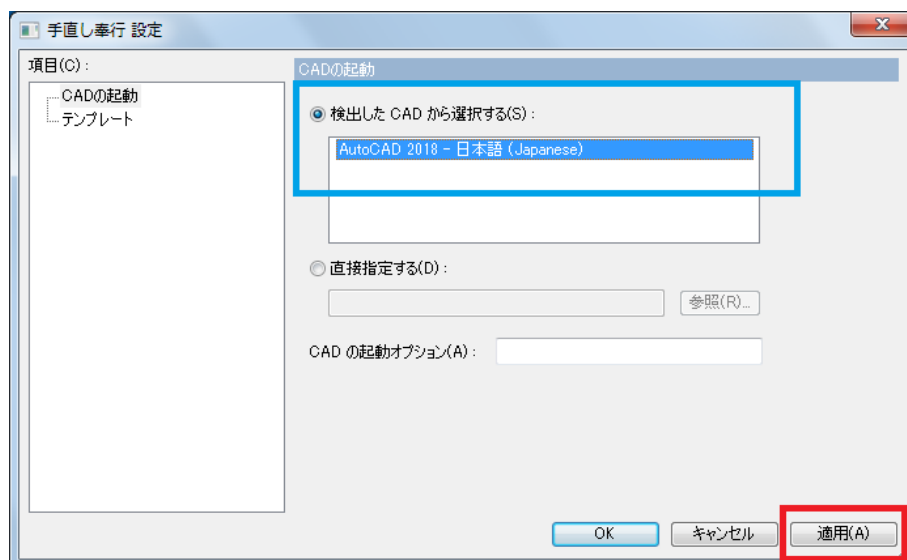
3. 手直し奉行の初期設定と起動

1. 起動するベース CAD の選択

スタートメニューの手直し奉行フォルダにある「設定」をクリックしてください。

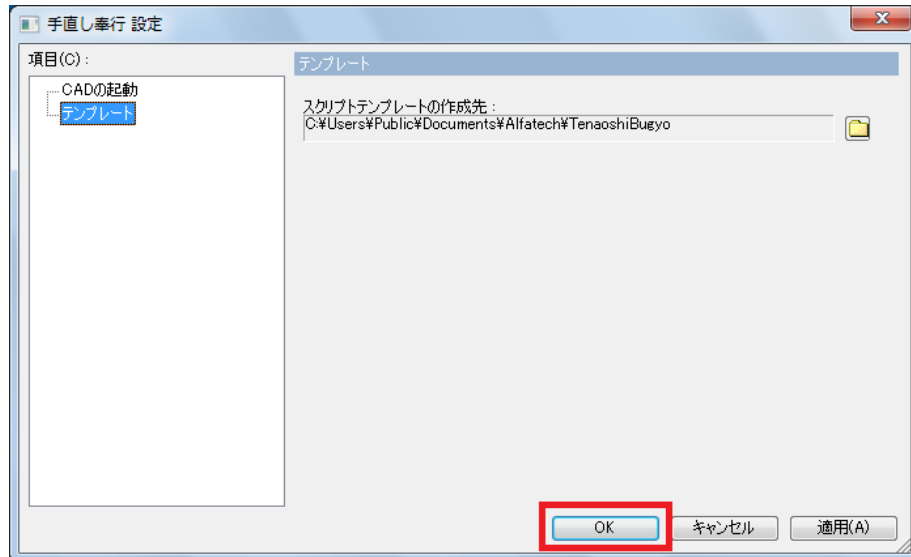


設定ダイアログの [CAD の起動]にて、検出した CAD の一覧から、使用する CAD を選択し、[適用]ボタンにて設定します。



2. テンプレートの保存先

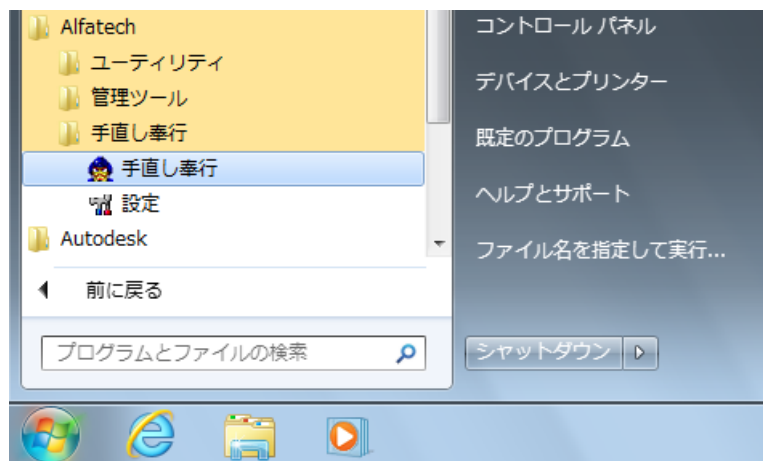
スクリプトテンプレートの保存先の初期値は以下の通りです。



[OK]ボタンをクリックし、設定ダイアログを閉じます。

3. 手直し奉行の起動

スタートメニューの**手直し奉行**フォルダにある「手直し奉行」をクリックしてください。



インストール時、「追加機能の選択」で「デスクトップアイコン」がチェックオンの場合、デスクトップにアイコンが作成されますので、「手直し奉行」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。



III. スタンドアロンライセンス (アクティベート)

1. 概要

Ver.16 より、アクティベーション方式に変更となりました。

これにより、スタンドアロンライセンスで購入された方は、必ず、「ライセンス形式の設定」から、アクティベートの作業が必要となります。

新規購入の際には、アクティベートファイルを含んだメディアが同梱されています。

ライセンスメディア内の acf アクティベートファイルでアクティベートを行ってください。

※ アクティベートファイルは、E-Mail による添付ファイルでご提供する場合もあります。

(ご注意)

アクティベートは、必ず、インターネットに接続できる環境で行って頂く必要があります。

インターネットにつながっていない場合、アクティベートはできません。

体験版で使う場合も、必ずアクティベートの作業が必要です。

2. ライセンス形式の設定（クライアント）

初期設定はスタンドアロンライセンス設定です。

1. ライセンスをアクティベート

1) アクティベートファイルの準備

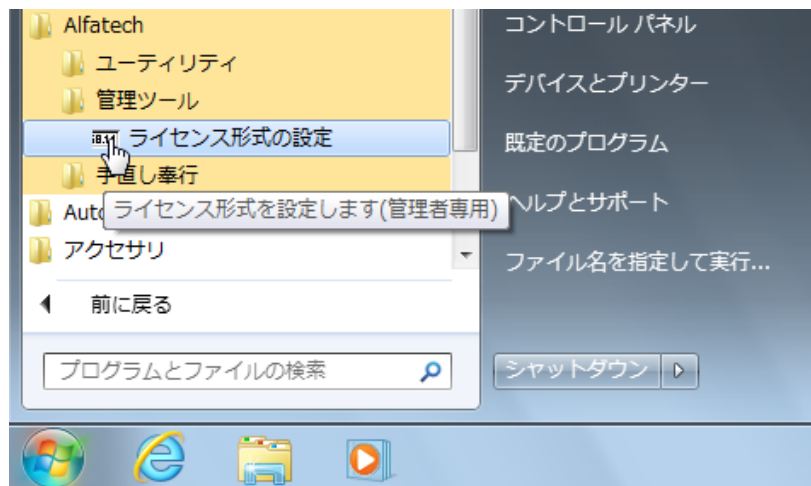
同梱されたアクティベートファイルを準備します。

※ 新規購入の際はメディアでの提供となります。再発行などでメール送付する場合があります。

2) [ライセンス形式の設定]の起動

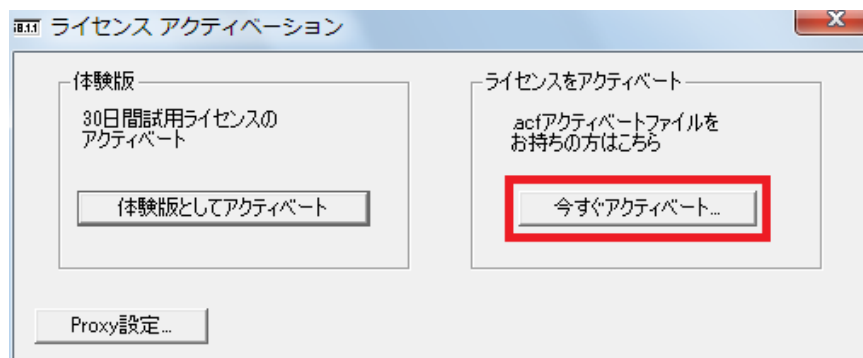
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



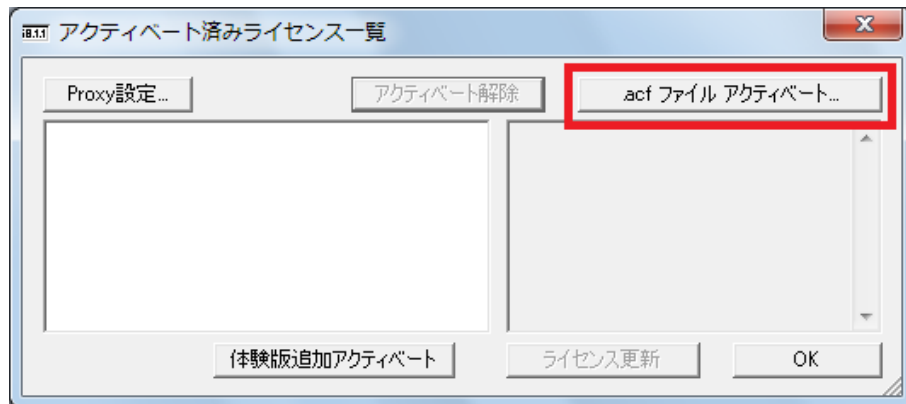
3) アクティベート作業の開始

[今すぐアクティベート]をクリックします。

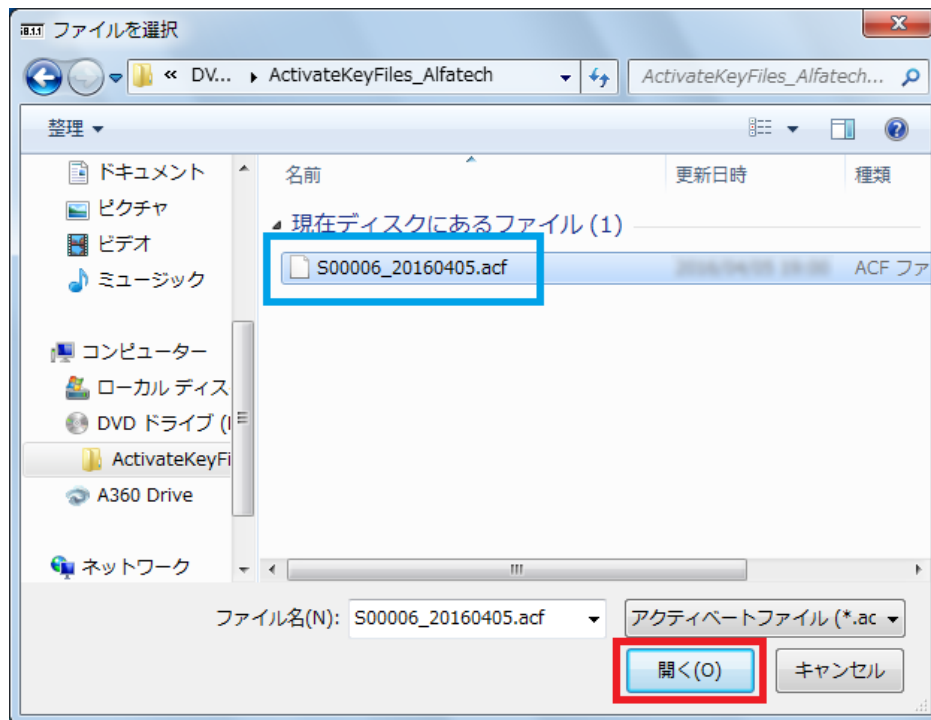


4) アクティベートファイルの選択

[.acf ファイル アクティベート]ボタンをクリックします。



[ファイルを選択]ダイアログより アクティベートファイルを選択し [開く]ボタンをクリックします。



ライセンスファイルのメディア内の license_list.txt に各アクティベートファイルに含まれる製品情報が記載されています。必ず、アクティベート作業の前に確認してください。

(補足)

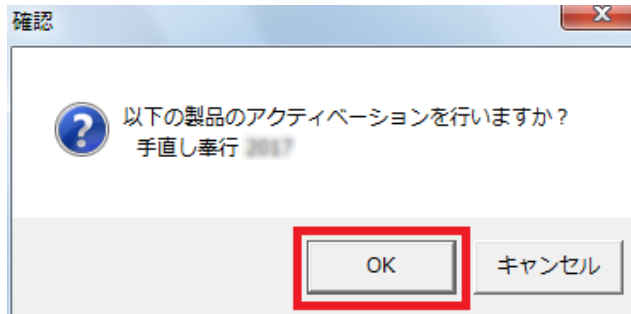
以下の製品は、1 つのアクティベートファイルにまとめます。その他は、別シリアル No のアクティベートファイルを発行します。必要に応じてアクティベートファイルを読み込み、アクティベートを行ってください。

(1 つのアクティベートファイルにまとめる対象製品)

ACAD-DENKI、電キャビ、ACAD-Parts、ACAD-IO、ホットマーカールink、ACAD-ELOP、
盤配線支援(2D/3D)

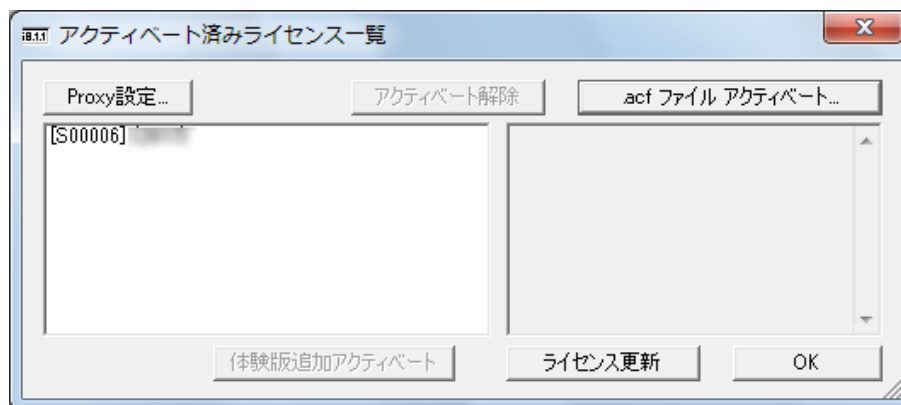
5) アクティベート製品の確認

選択したアクティベートファイルに含まれる製品名とライセンスバージョンを記載した確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックし登録を行います。

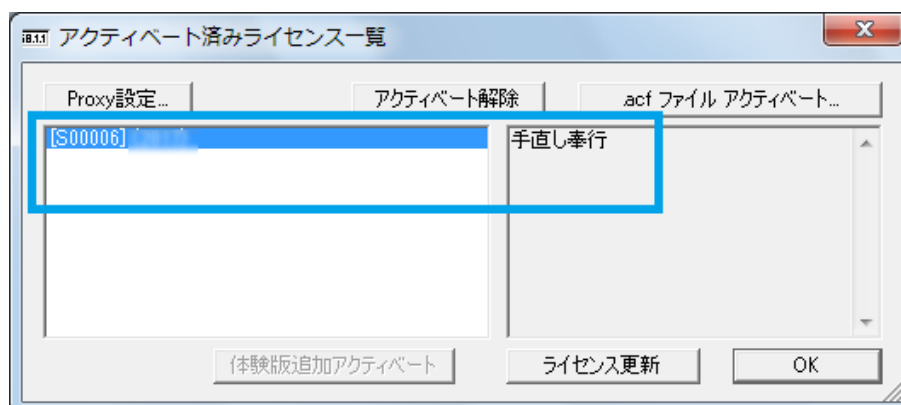


6) アクティベート情報

アクティベートされたライセンス情報が表示されます。



左欄のシリアル番号を選択すると、右欄に含まれる製本情報が表示されます。

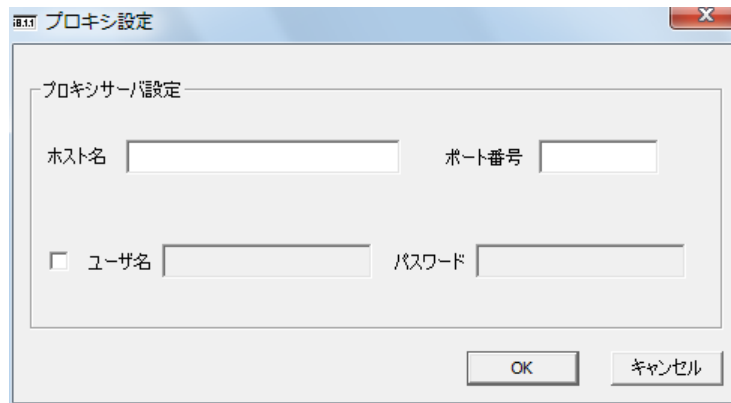


[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

インターネット接続に対して、プロキシサーバー経由の設定が必要な場合、アクティベートに失敗することがあります。

[Proxy 設定]ボタンをクリックし、プロキシサーバ設定のホスト名、ポート番号の欄に、ブラウザーに登録したプロキシ設定と同じ値(種類:HTTP)の入力を行ってからアクティベートを再実行してください。



2. ライセンス更新

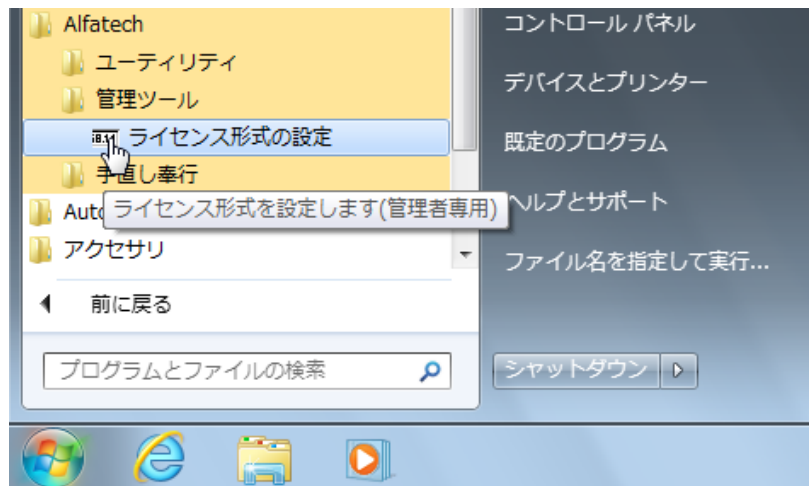
Ver.16 以降、バージョンアップ後には [ライセンス更新]の作業が必要になります。

※ 新規にインストールする場合、本作業は不要です。

1) [ライセンス形式の設定]の起動

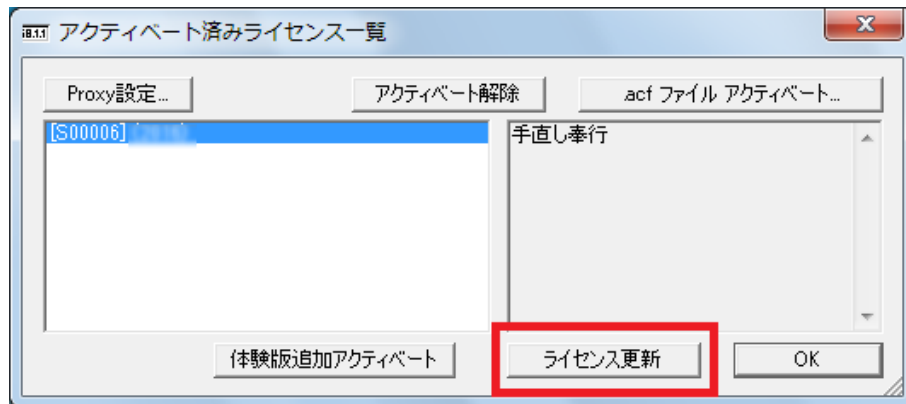
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



2) アクティベート済みのライセンスの更新

アクティベートされているライセンス情報が表示されます。



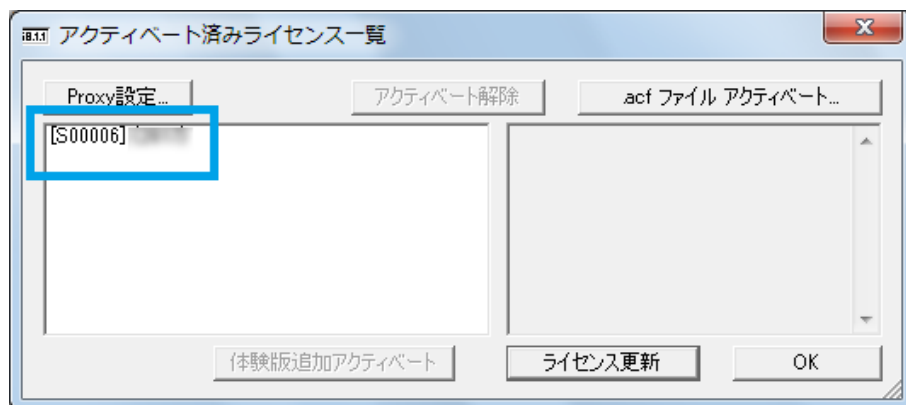
左欄のシリアル番号の右側に現在のライセンスバージョンが表示されます。

ライセンスを更新する行を選択し、[ライセンス更新]ボタンをクリックします。

※ 複数行を選択し、同時に解除することもできます。

3) アクティベート情報

左欄のシリアル番号の右側のバージョン情報が更新されます。



作業完了後、[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

ライセンス更新を実行してもインストール製品のバージョンに変わらない場合、ライセンスを購入(バージョンアップ)されていないか、アクティベーションサーバーにトラブルが発生している可能性があります。

ご不明な点、および購入ライセンスの確認については、弊社サポート宛までご連絡ください。

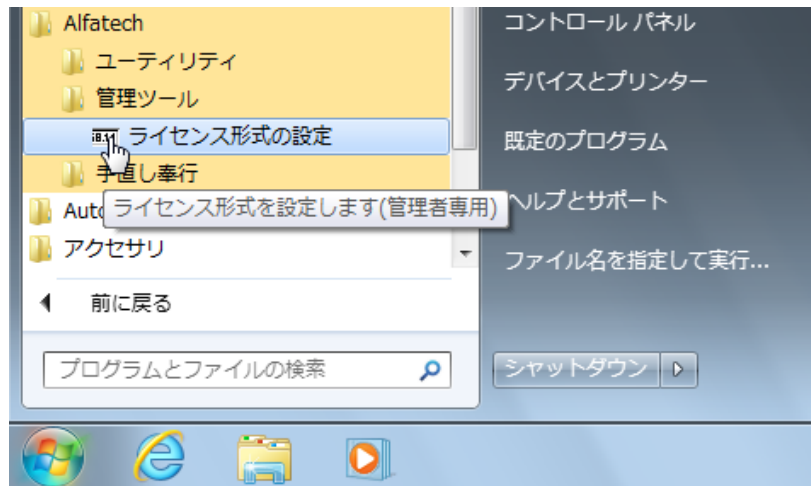
3. アクティベート解除

別の PC にライセンスを移動する場合にアクティベート解除の作業を行います。

1) [ライセンス形式の設定]の起動

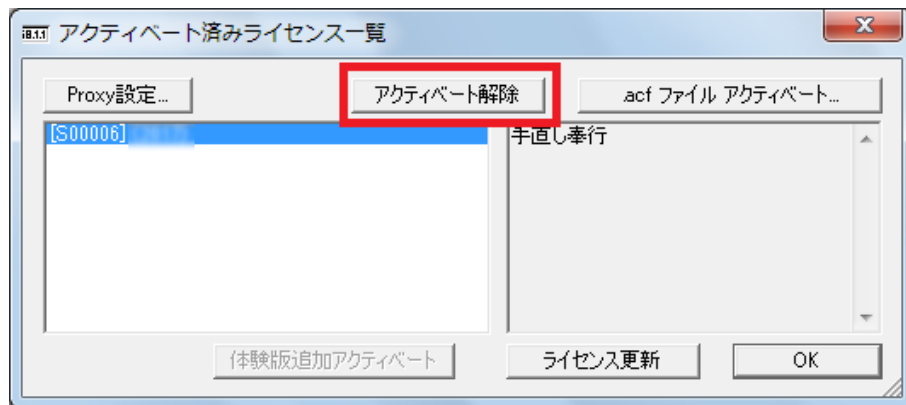
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



2) アクティベート解除するライセンスの選択

アクティベートされているライセンス情報が表示されます。



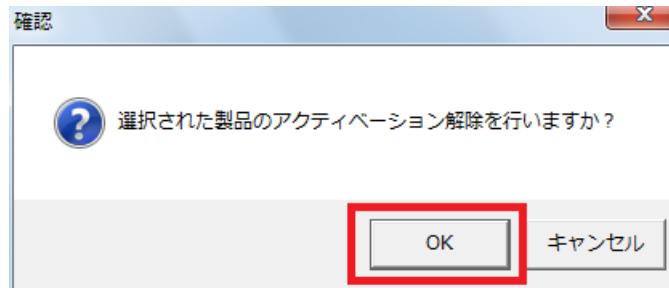
解除するライセンス情報の行を選択し、[アクティベート解除]ボタンをクリックします。

※ 複数行を選択し、同時に解除することもできます。

3) アクティベート解除の確認

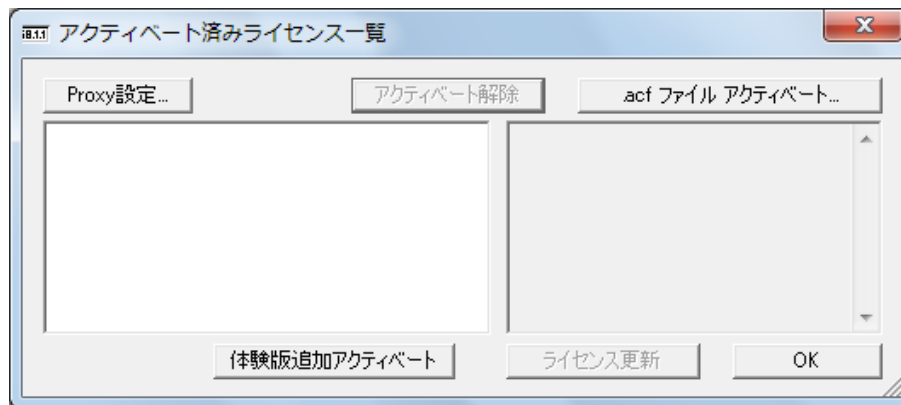
アクティベート解除の実行確認のメッセージを表示します。

[OK]ボタンをクリックすると、解除されます。



4) アクティベート情報

選択したライセンス情報のアクティベートが解除され、一覧から削除されます。



作業完了後、[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

アクティベート解除しないで、PC を破棄などした場合、新しい PC でのアクティベートはできません。

必ず、アクティベート解除の作業を行ってください。

もし、お客様の方でアクティベート解除ができない状況が発生した場合、書面によるアクティベート解除の手続きを行っていただくことになります。

ご不明な点は、弊社サポート宛までご連絡ください。

(アクティベート強制解除の手続きの概要)

- 1) 弊社ホームページより解除申請書をダウンロードする。
- 2) 必要事項を記入し、捺印後にメールまたは FAX 送信する。
- 3) 弊社にて申請内容を確認した後、アクティベートの強制解除を実施する。
- 4) メールにて解除を連絡する。

<<このページは白紙です>>

IV. フローティングライセンス (FlexNet ライセンス管理サービス)

1. インストール(サーバー)

1. 動作環境

ネットワークライセンス管理として FlexNet Publisher (Version 11.14.1.1) を採用しています。

OS : 以下の OS の 32 ビット版及び 64 ビット版をそれぞれサポートします。

日本語版 Windows Server 2016

日本語版 Windows Server 2012 R2

日本語版 Windows Server 2012

日本語版 Windows Server 2008 R2 SP1 以降

日本語版 Windows Server 2008 SP1 以降(64ビットは SP2 以降)

日本語版 Windows 10

日本語版 Windows 8 / 8.1

日本語版 Windows 7 SP1 以降

OS は、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 の各サーバーOS を推奨します。

冗長型ライセンスサーバーは、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 環境のみサポートします。

Windows 10 / Windows 8,8.1 / Windows 7 はサポートしていません。

CPU : Pentium 4 以上 1.2GHz(最低)

ネットワーク インターフェース カード(NIC)必須

プロトコル : TCP/IP (IPv4)

仮想環境 : FlexNet Publisher のリリースノート記載サポート

VMware Workstation 10

VMware ESXi 5.5

Citrix XenServer 6.2

Microsoft Hyper-V

・ Windows Server 2012

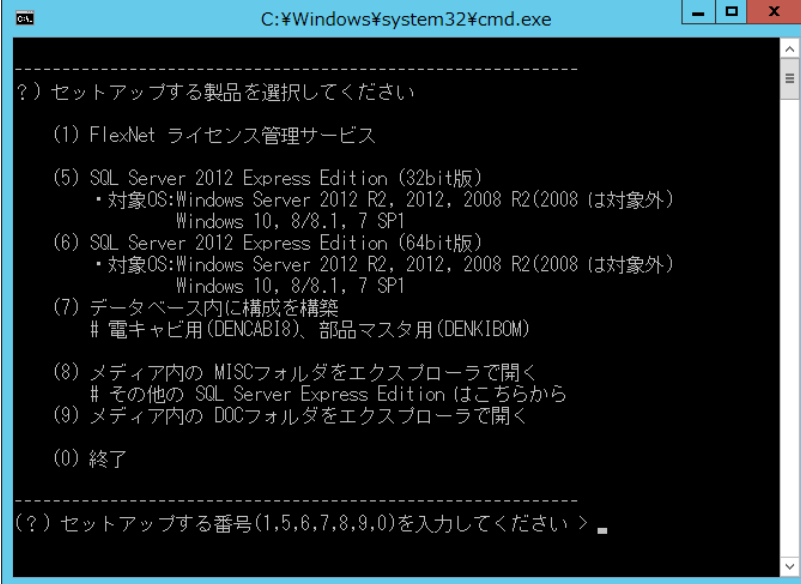
2. FlexNet ライセンス管理サービスのインストール

※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーに対してインストール作業を行ってください。

1) コマンドプロンプトの起動

FlexNet ライセンス管理サービスをインストールするサーバーDVD ドライブに「ライセンス管理サービス」のメディア※を挿入します。

Install.bat の起動後、以下の画面を表示します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe

? ) セットアップする製品を選択してください

(1) FlexNet ライセンス管理サービス

(5) SQL Server 2012 Express Edition (32bit版)
    * 対象OS: Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2 (2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(6) SQL Server 2012 Express Edition (64bit版)
    * 対象OS: Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2 (2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(7) データベース内に構成を構築
    # 電キャビ用 (DENCAB18)、部品マスタ用 (DENKIBOM)

(8) メディア内の MISCフォルダをエクスプローラで開く
    # その他の SQL Server Express Edition はこちらから
(9) メディア内の DOCフォルダをエクスプローラで開く

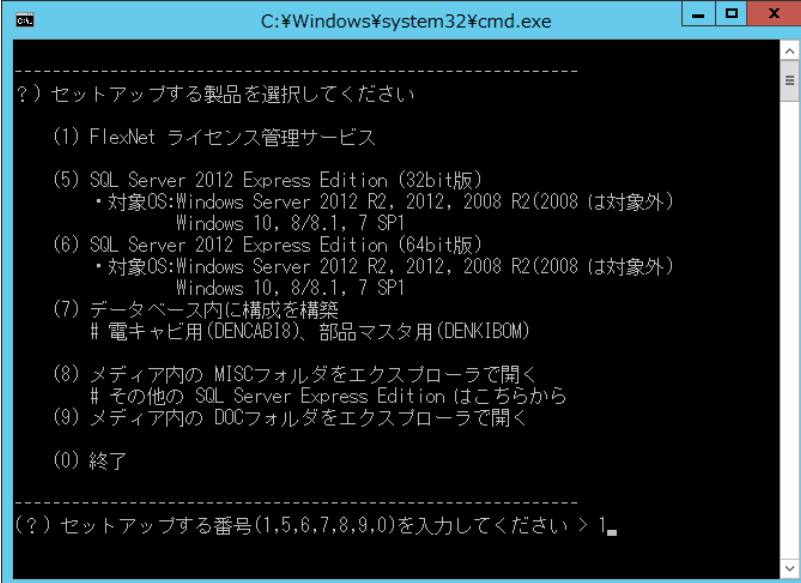
(0) 終了

( ? ) セットアップする番号(1,5,6,7,8,9,0)を入力してください > .
```

※ 上記は「SQLServer 接続設定を含む」のメディアの画面構成です。

2) セットアップする番号を入力

セットアップする番号に 1 を入力し、Enter を押します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe

? ) セットアップする製品を選択してください

(1) FlexNet ライセンス管理サービス

(5) SQL Server 2012 Express Edition (32bit版)
    * 対象OS: Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2 (2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(6) SQL Server 2012 Express Edition (64bit版)
    * 対象OS: Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2 (2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(7) データベース内に構成を構築
    # 電キャビ用 (DENCAB18)、部品マスタ用 (DENKIBOM)

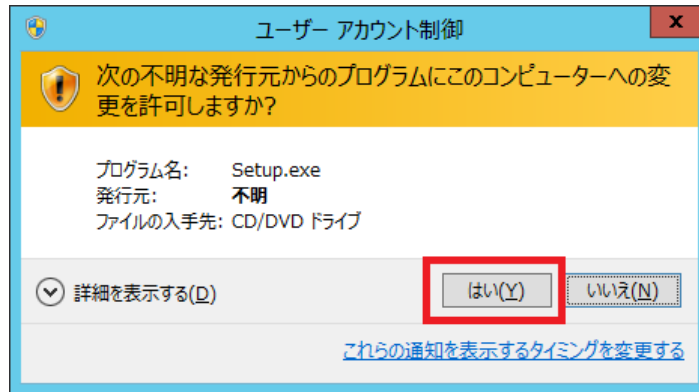
(8) メディア内の MISCフォルダをエクスプローラで開く
    # その他の SQL Server Express Edition はこちらから
(9) メディア内の DOCフォルダをエクスプローラで開く

(0) 終了

( ? ) セットアップする番号(1,5,6,7,8,9,0)を入力してください > 1.
```

以下の確認メッセージを表示することがあります。

[はい]ボタンをクリックし、実行してください。



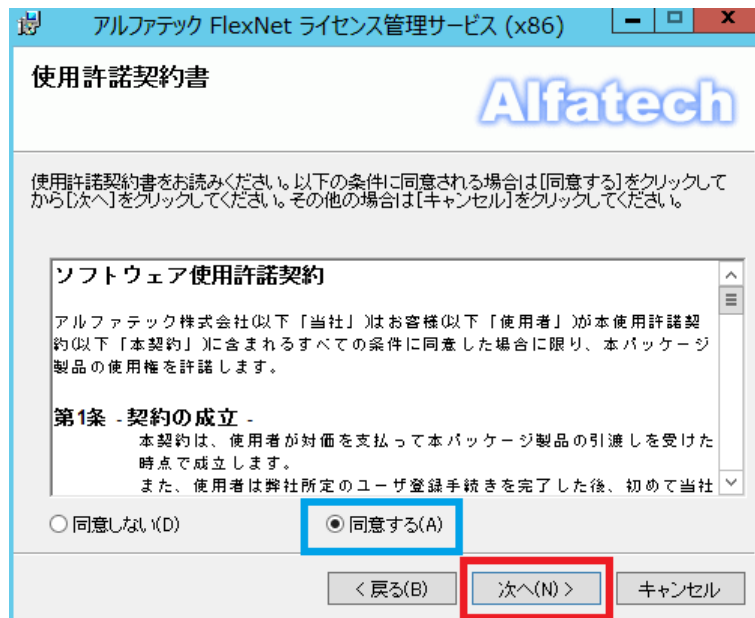
3) インストーラの起動

次に、以下のウィンドウが表示されますので、[次へ(N) >] ボタンをクリックします。



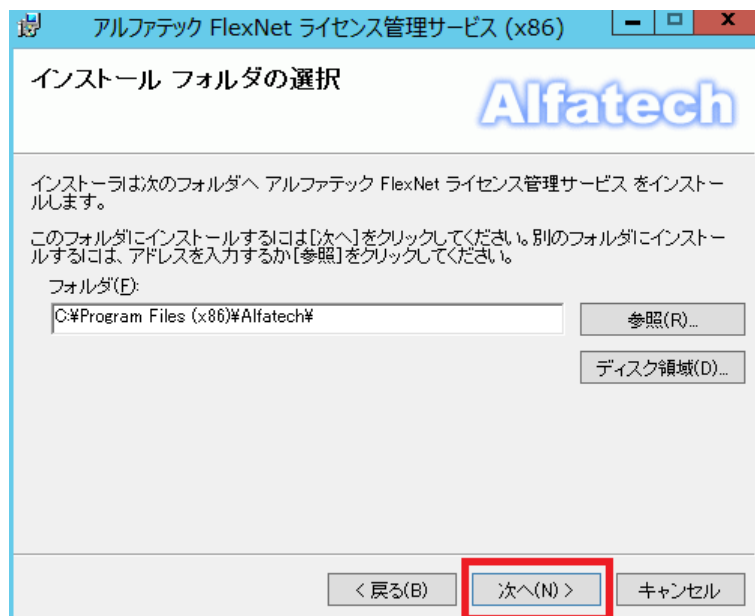
4) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は **[同意する (A)]** を選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

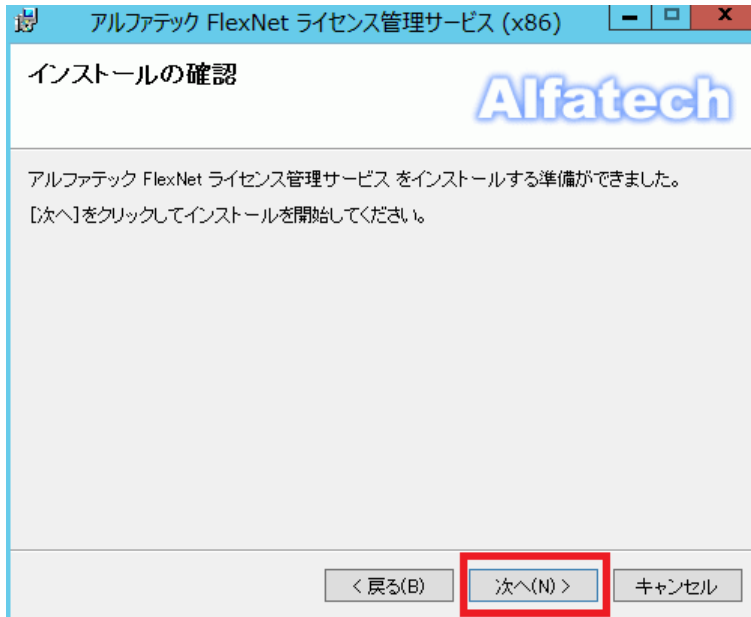
5) インストールするフォルダの選択



インストールするフォルダを選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

※上図は 64bitOS 上にインストールした場合のインストールフォルダ名です。

6) インストールの確認



[次へ (N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

7) インストールの完了



FlexNet ライセンス管理サービスのインストールは完了です。

[閉じる (c)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

なお、コンピュータの状態によっては再起動を促す画面が表示されることがあります。

このときは必ず OS を再起動してください。

また、最初のセットアップする製品の選択画面に戻りますので、終了してください。

2. ライセンスサービスの起動(サーバー)

※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーで作業してください。

1. ライセンスファイルのコピー

取得したライセンスファイルを、各サーバーの「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストール先フォルダ (64bitOS での例: C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL) 以下にコピーします。

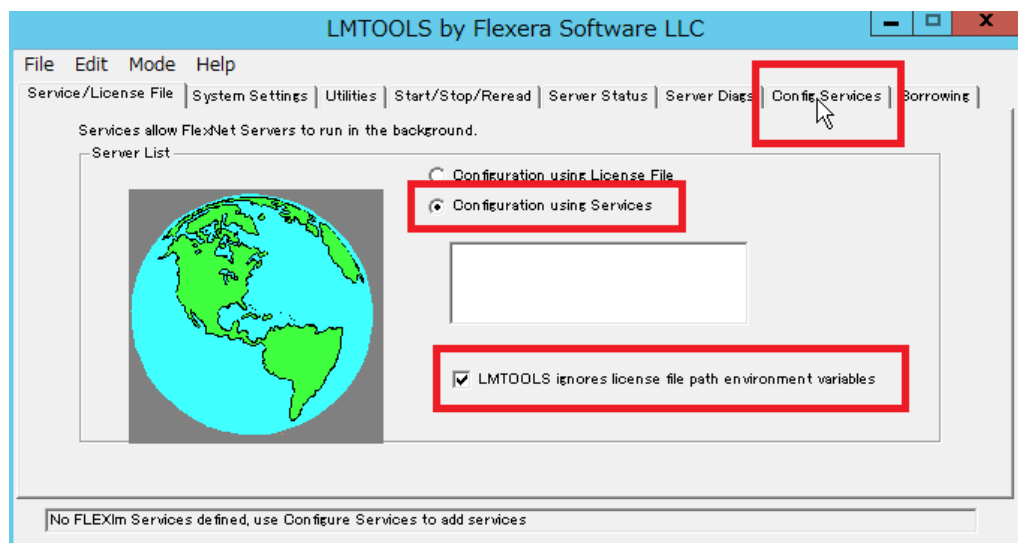
2. LMTOOLS の実行

[スタート]ボタンから、[Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS] または、アプリの一覧から [Alfatech]-[LMTOOLS] をクリックします。

3. LMTOOLS の設定開始

「Service/License」タブにて「Configuration using Services」にチェックがついていることを確認し、「LMTOOLS ignores license file path environment variable」にチェックを入れます。

「Config Services」タブをクリックします。



4. Config Services の設定

以下のとおり各種設定を行います。

「Service Name」として任意の名前を入力する。(例: Alfatech Flexlm)

「Path to the lmgrd.exe file」の[Browse]ボタンをクリックし、lmgrd.exe を選択する。
(64bitOS の例: C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\lmgrd.exe)

「Path to license file」の[Browse]ボタンをクリックし、ライセンスファイルを選択する。
(64bitOS の例: C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\Lic\licfile.lic)

「Path to the debug log file」の欄に、デバッグログファイルの出力先を入力する。

(例: C:\ProgramData\AlfatechFL\log.log)

指定された .log ファイルが存在しない場合は新たに作成されます。

- ※ 開くダイアログで新規のログファイル名を入力する場合、ファイル名の入力欄には、拡張子(.log)を含むファイル名(例: log.log)を入力してください。

すでに存在する場合はサービスの再起動時に既存ファイルを上書きします。

また、ログファイルの出力先フォルダは実在する必要があります。

- ※ 追加書き込みを行う場合は、パス名の先頭に + を付与してください。

ただし、[View Log...]ボタンからのログ内容の確認が出来なくなります。

(例: +C:\ProgramData\AlfatechFL\log.log)

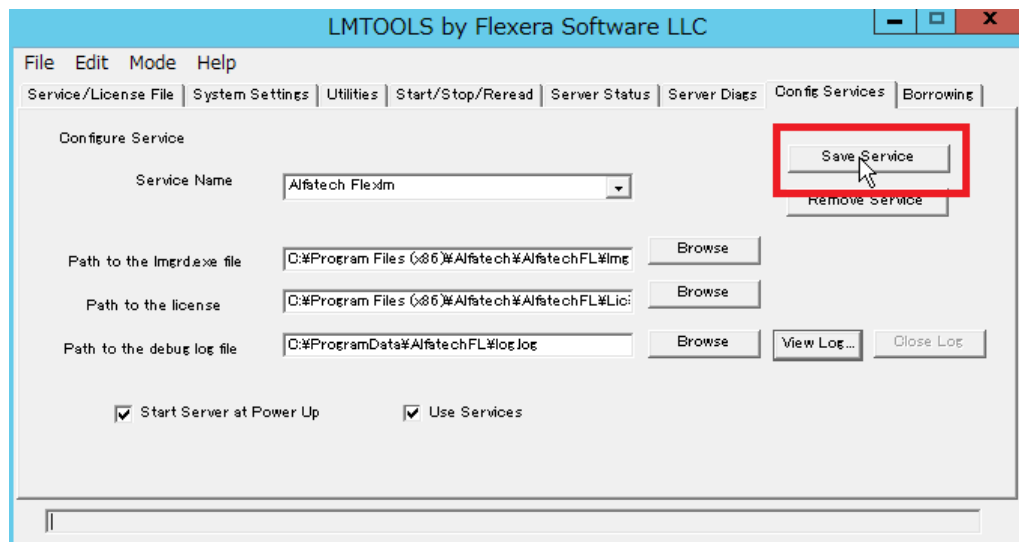
「Use Services」をチェックする。

「Use Services」をチェックすることにより、Network License Manager がサービスとして動作します。

「Start Server at Power Up」をチェックする。

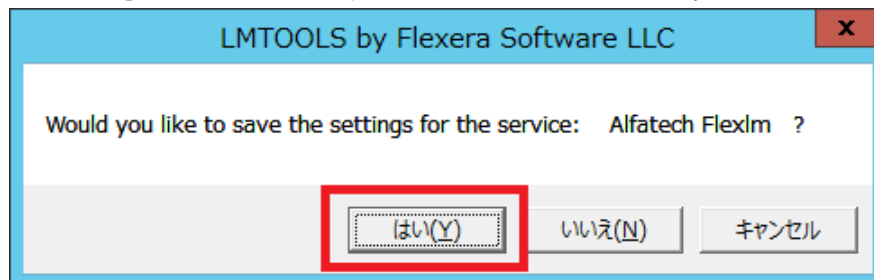
「Start Server at Power Up」をチェックすることにより、OS 起動時に Network License Manager が自動的に起動されます。

[Save Service]ボタンをクリックする。



5. サービスの設定値の保存

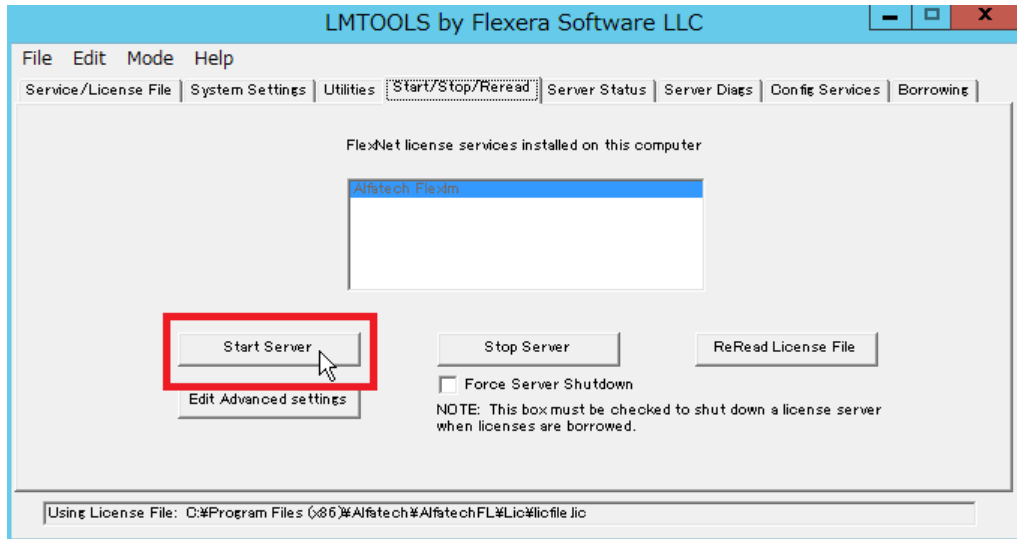
[Save Service]ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



[はい(Y)]ボタンをクリックし、設定値を保存します。

6. サービスの開始

「Start/Stop/Reread」タブを選択して、[Start Server]ボタンをクリックする。



ここまでの作業を、すべての対象サーバーにて実施し、次の動作確認を行ってください。

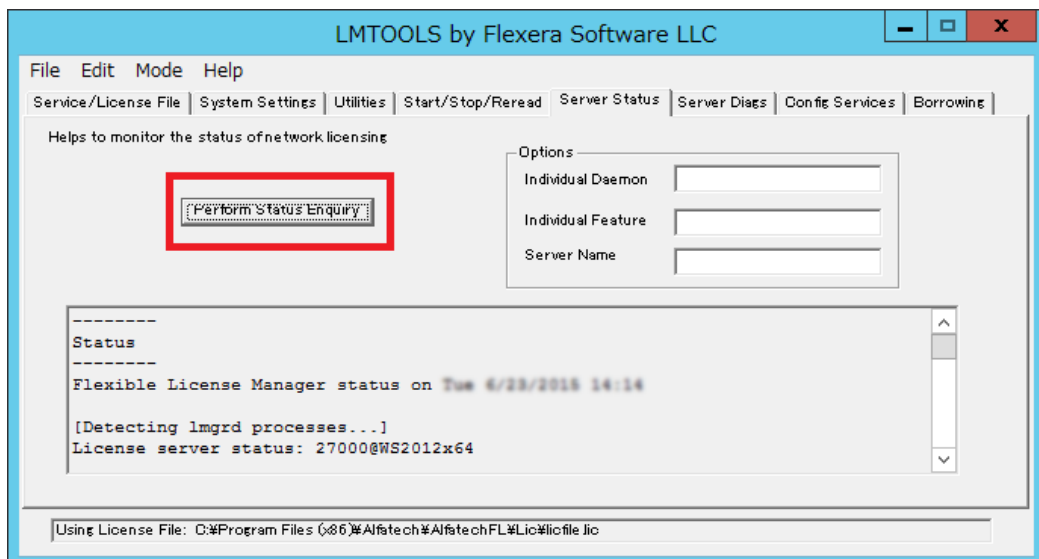
7. 動作確認

ライセンスサービスが正常に起動しているかを確認します。

※冗長サーバー構成の場合は、すべてのサーバーの設定を終えてから確認してください。

「Server Status」タブを選択する。

[Perform Status Enquiry]ボタンをクリックする。



ライセンスの状態が表示されます。正常な場合、トータルのライセンス数などが確認できます。

3. Windows ファイアウォールの設定(サーバ)

ライセンスサーバー上の Windows ファイアウォールが有効な場合、インストール先の 2 つのプログラム (lmgrd.exe、alfaflex.exe) の例外登録が必要です。

alfaflex.exe については、ライセンスファイル内に使用するポート番号が記載されています。

lmgrd.exe については、原則として冗長構成の場合のみライセンスファイル内に使用するポート番号が記載されています。シングル、分散構成の場合は LMTTOOL にて使用ポート番号を確認してください。

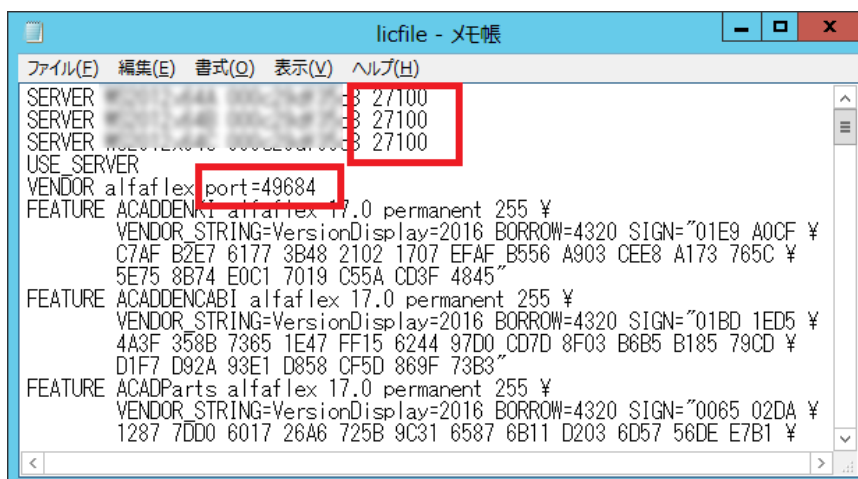
※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーで作業してください。

1. ポート番号の確認

取得したライセンスファイル(.lic)をメモ帳で開き、ポート番号を確認します。

(冗長サーバー構成の例)

SERVER の行末に lmgrd.exe 用のポート番号、VENDOR の行末に alfaflex.exe 用のポート番号



(シングル構成の例)



※ご注意※

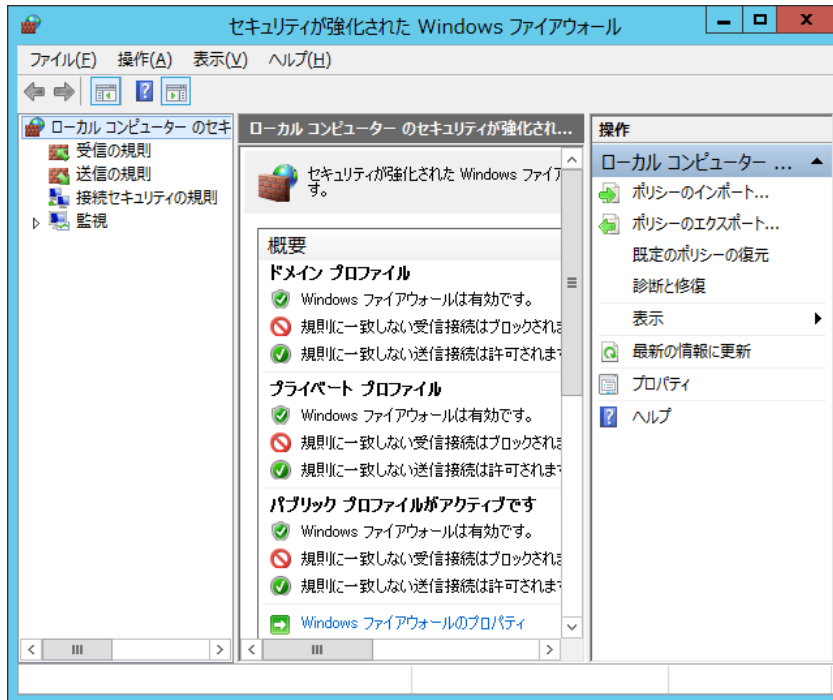
確認後のファイルは必ず破棄終了してください。

上書き保存すると、ライセンスが認識できなくなり、ライセンスファイルの再発行が必要となります。

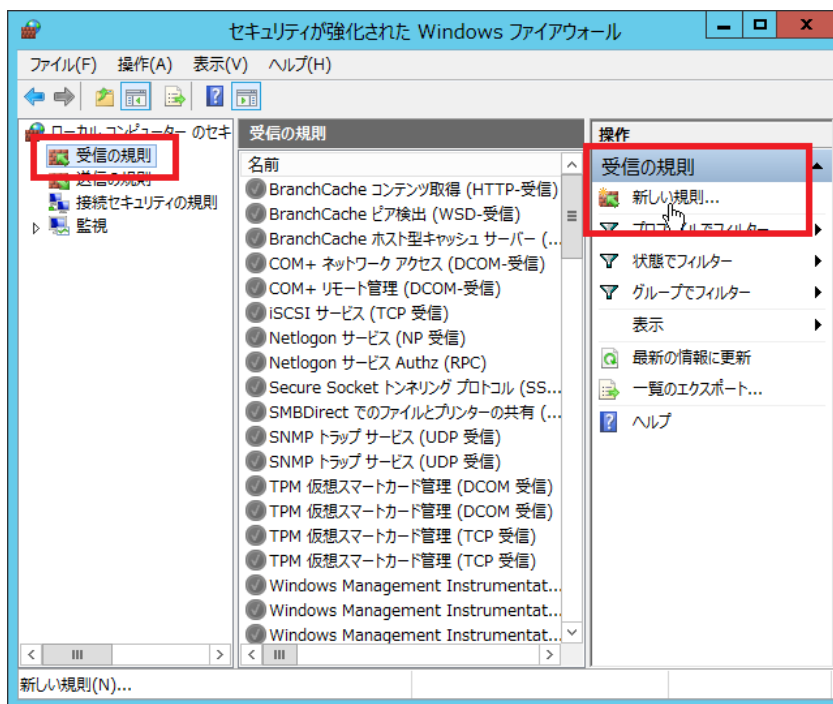
2. Windows ファイアウォールへの例外登録

以下は Windows Server 2012 での操作例です。

[管理ツール] から [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] を実行します。

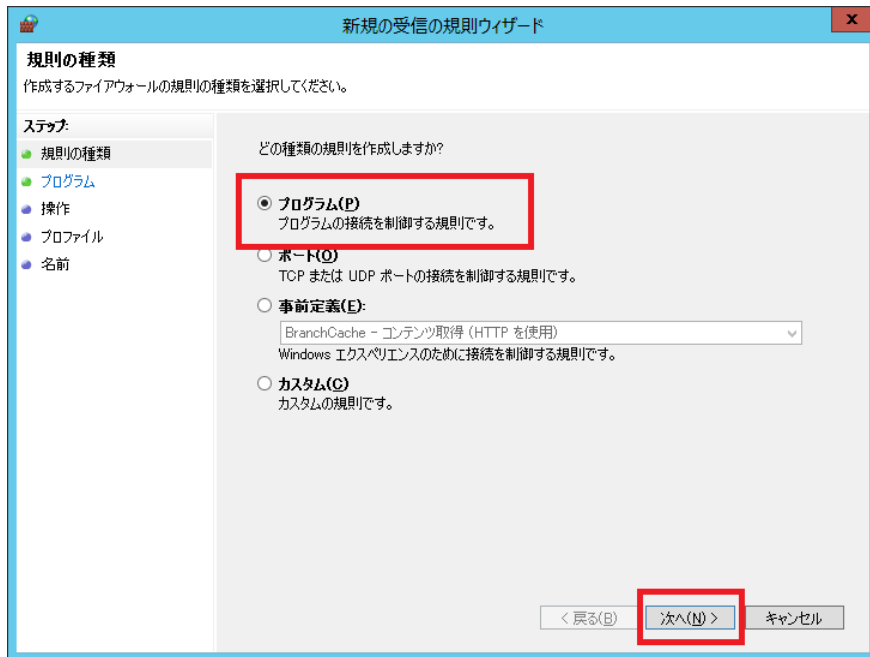


[受信の規則] を選択し [新しい規則] をクリックします。



画面にしたがって登録作業を行います。

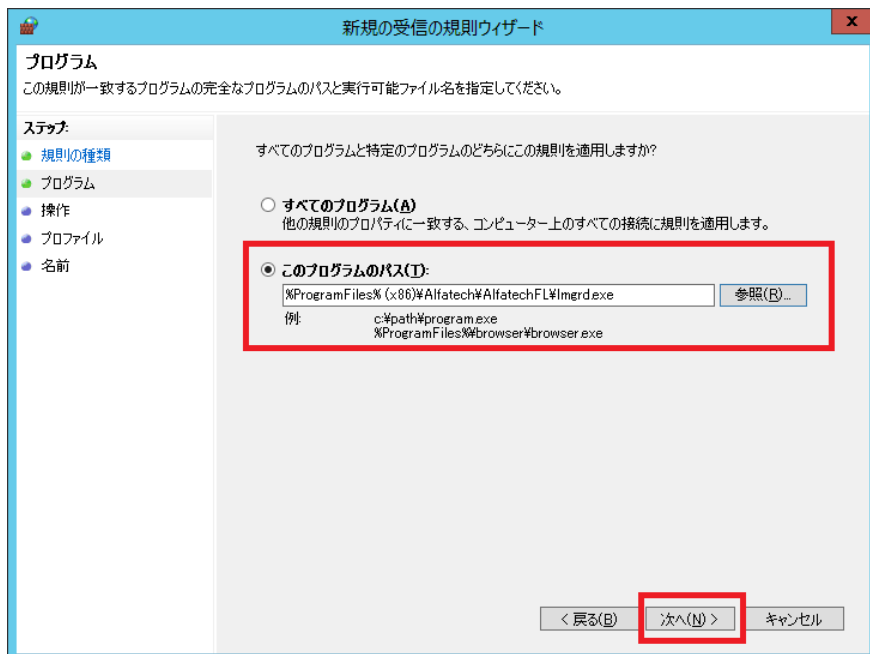
[プログラム(P)]を選択し [次へ]ボタンをクリックします。



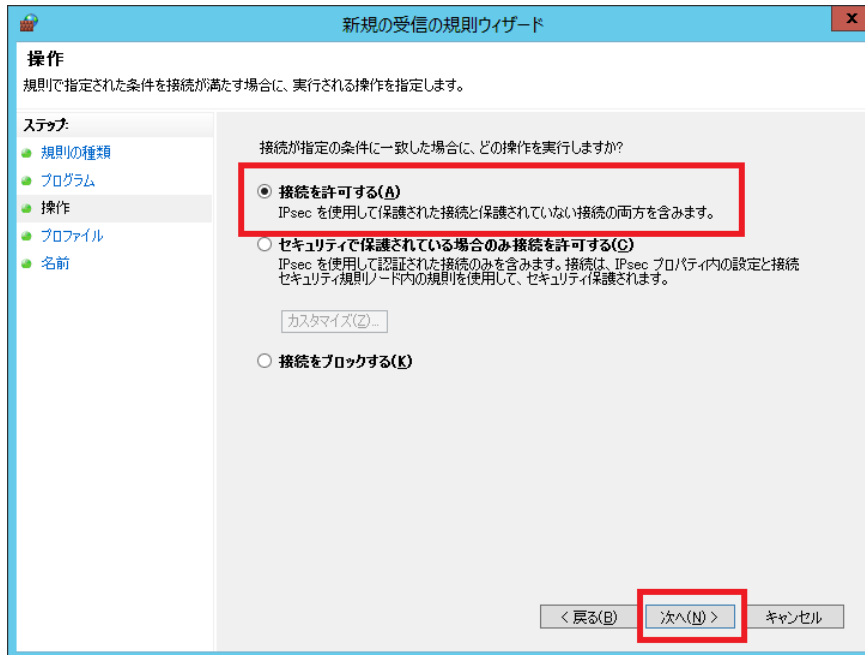
[このプログラムのパス(T)] を選択、[参照]ボタンをクリックしインストール先の `lmgrd.exe` を選択します。

パスの指定後、[次へ]ボタンをクリックします。

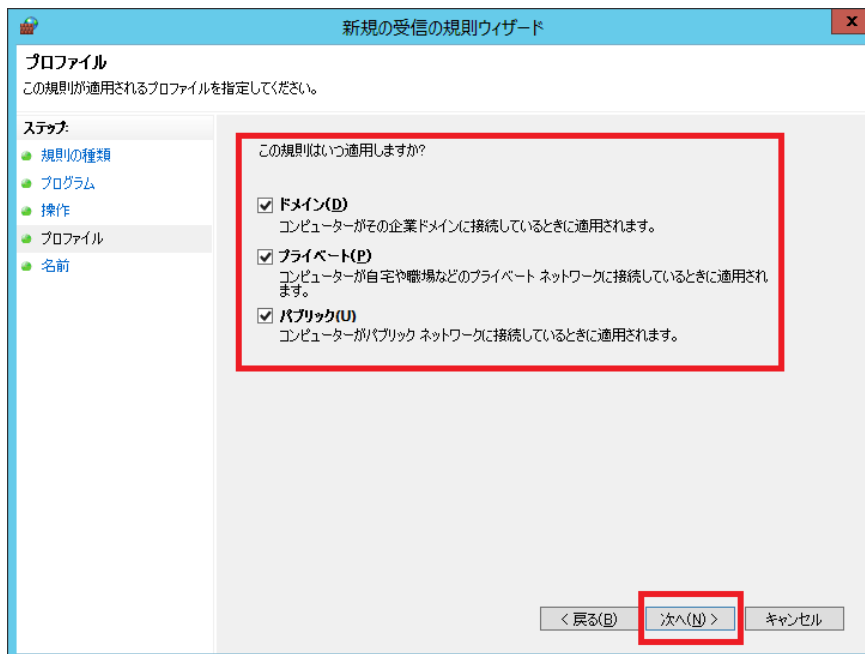
(64bitOS の例) `C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\lmgrd.exe`



[接続を許可する] を選択し [次へ] ボタンをクリックします。

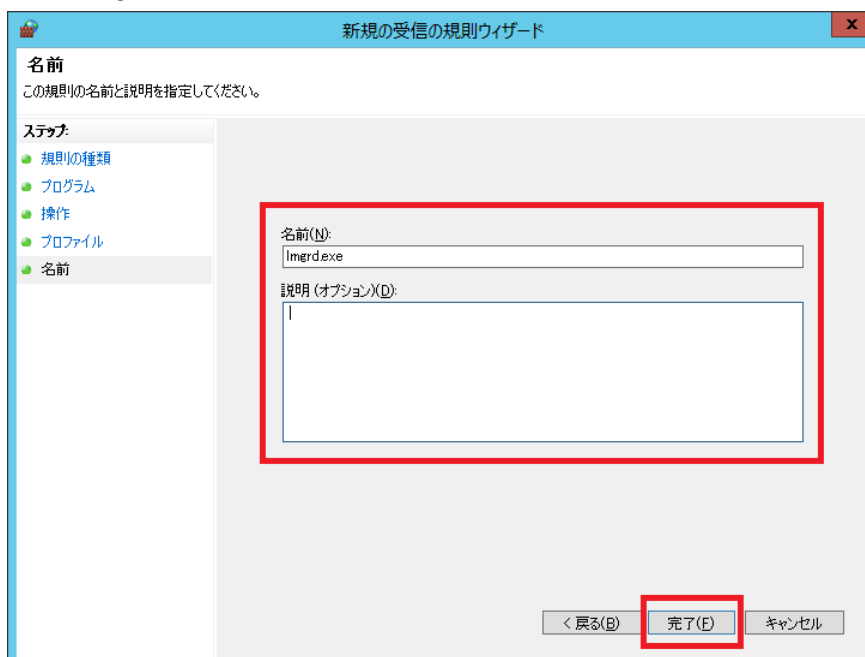


適用するプロファイルにチェックを付け [次へ] ボタンをクリックします。

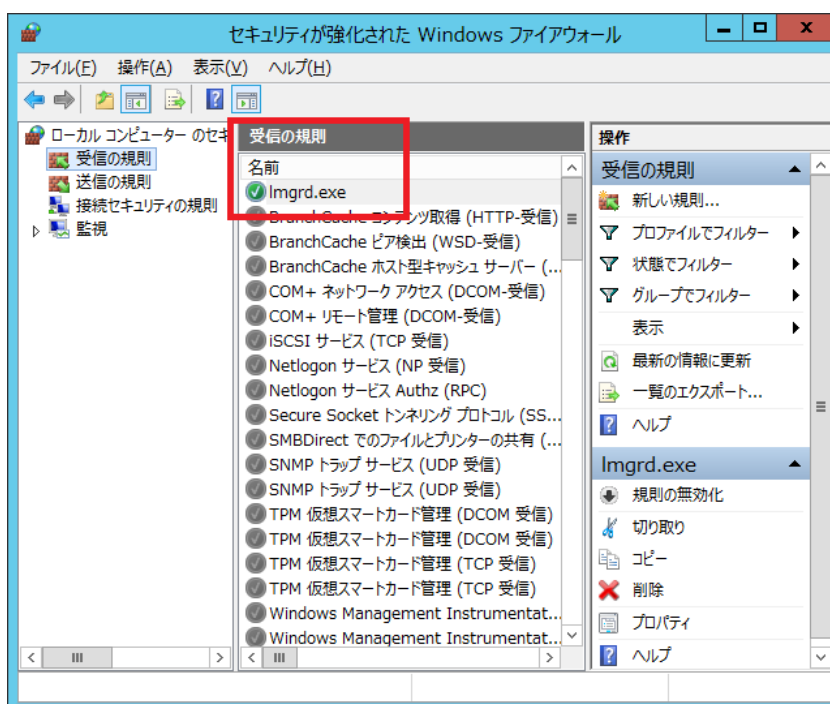


[受信の規則]の一覧に表示する[名前]と[説明]を入力し、[完了]ボタンをクリックします。

(例: 名前:lmgrd.exe)



[受信の規則] の名前の一覧に規則が登録されます。

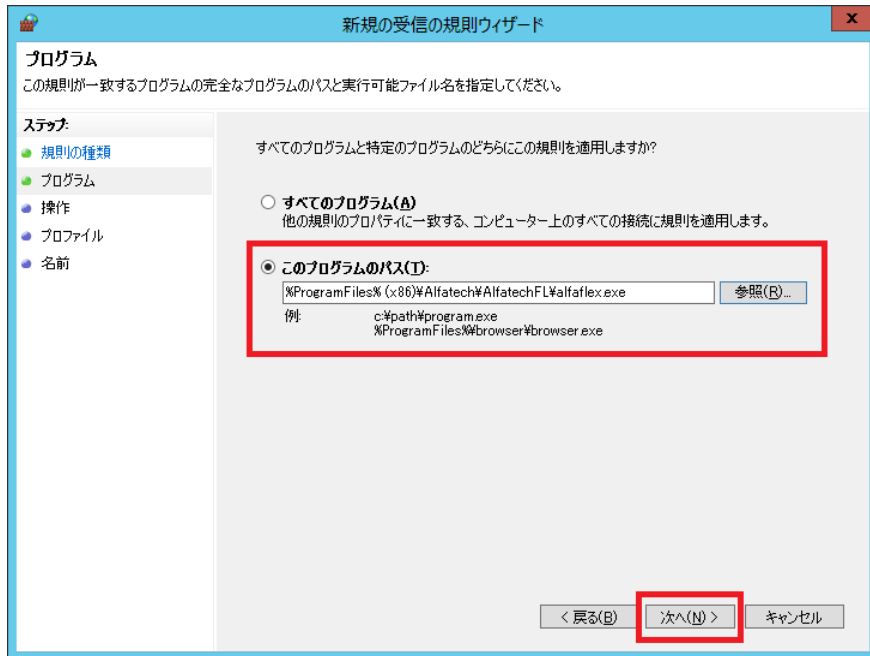


alfaflex.exe も同様に [受信の規則] に対して [新しい規則]として登録します。

[プログラム]の[このプログラムのパス(T)] を選択、[参照]ボタンをクリックしインストール先の alfaflex.exe を選択します。

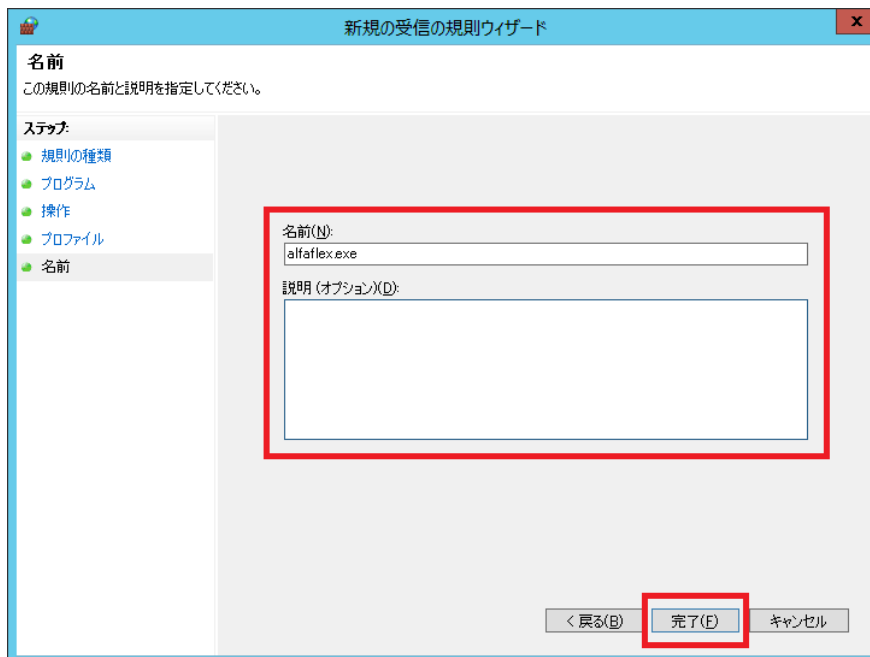
パスの指定後、[次へ]ボタンをクリックします。

(64bitOS の例) C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\alfaflex.exe

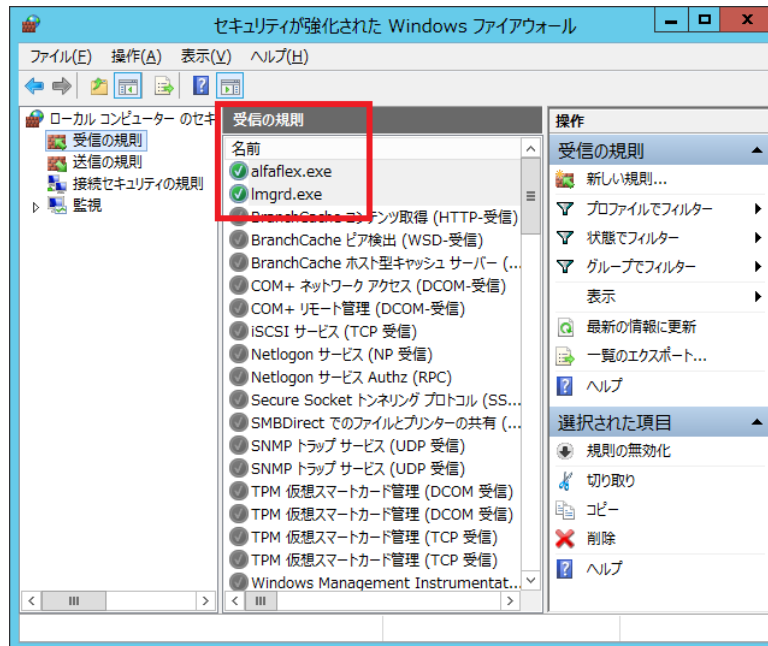


[受信の規則]の一覧に表示する [名前] と [説明] を入力し、[完了]ボタンをクリックします。

(例: 名前:alfaflex.exe)



[受信の規則] の名前の一覧に規則が登録されます。



4. ライセンス形式の設定(クライアント)

初期設定はスタンドアロンライセンス設定です。
ネットワークライセンス (FlexNet) で使う場合、ライセンスサーバーの構成の指定、ライセンスサーバーの入力などの設定を行います。
本設定はクライアントごとに行う必要があります。
ただし、本設定情報を含んだネットワークインストーラでインストールした場合、以降の設定作業は不要です。

1. フローティングライセンスの設定

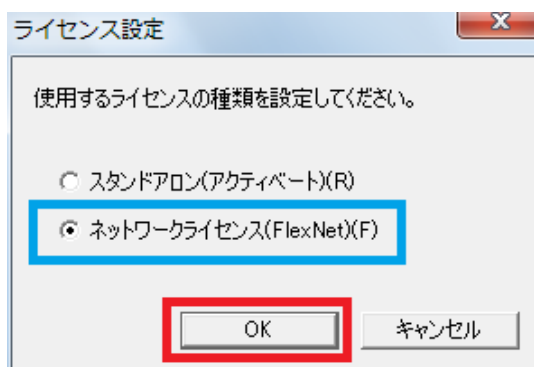
1) ライセンス設定の変更

以下のファイルを実行し、ライセンス設定の変更を行ないます。

(実行ファイル)

32bit 版の場合: C:\ProgramFiles\CommonFiles\Alfatech\alfaNetworkLicenseType_v16.exe

64bit 版の場合: C:\ProgramFiles(x86)\CommonFiles\Alfatech\alfaNetworkLicenseType_v16.exe

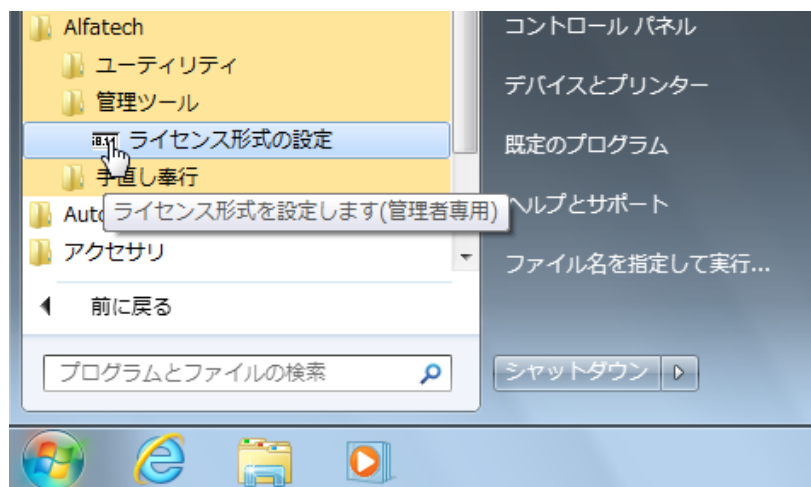


2) [ライセンス形式の設定]の起動

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意)

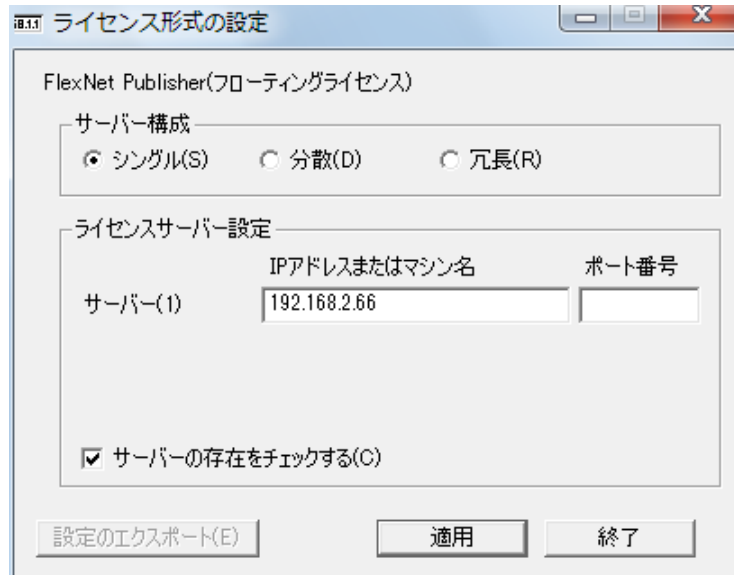
設定変更には管理者権限が必要です。



「サーバー構成」、「ライセンスサーバー設定」の指定作業を行い、[適用]ボタンをクリックします。

※ご注意※

[終了]ボタンは編集した設定内容を保存しないでダイアログを閉じます。



(例)シングルサーバー構成、IP アドレス: 192.168.2.66 、ポート番号: 指定なし の場合

[サーバー構成]

“シングル”、“分散”、“冗長” から選択します。

発行されているライセンス情報に基づいて選択してください。

[ライセンスサーバー設定]

ライセンスサーバーの IP アドレス(マシン名)とライセンスファイル記載のポート番号を入力します。

ライセンスファイルにポート番号の記載がない場合はポート番号の入力は不要です。

サーバー構成によって、登録するサーバー情報の数が変わります。

[サーバーの存在をチェックする]

適用ボタンをクリックした際に登録サーバー上で適切にサービスが起動しているかを確認します。

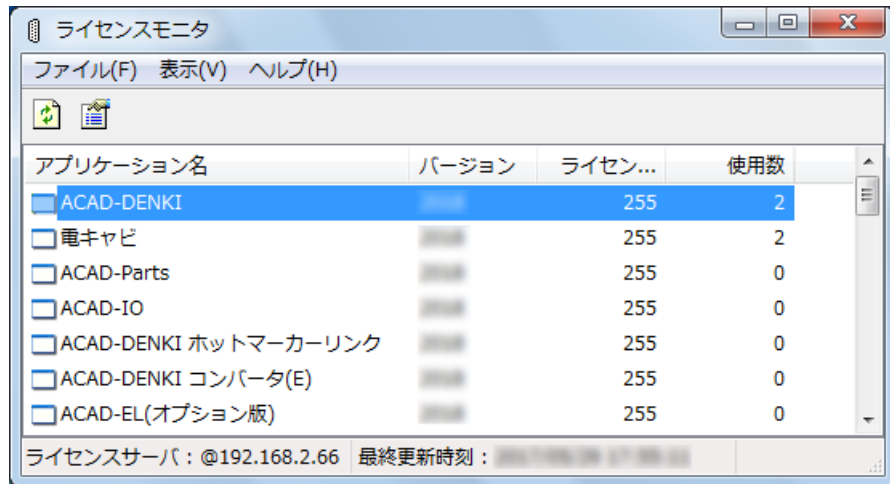
チェックを付けずに適用ボタンをクリックした場合、登録情報を作業クライアントに適用するだけです。

[適用]のあと、[閉じる]ボタンをクリックして、ライセンス形式の設定を終了してください。

2. ライセンスモニタによる確認

[スタート]→[プログラム]→[Alfatech]→[ユーティリティ]→[ライセンスモニタ]を起動します。

サーバと通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバの状態が表示されます。



※お客様の環境や購入ライセンス数によって、「アプリケーション名」、「ライセンス数」、「ライセンスサーバ」などの表示情報は異なります。

ライセンスモニタはアプリケーションごとのライセンス数を表示します。

(借用中のライセンス表示について)

「ライセンスの借用」が行われている場合、使用数の欄には借用分のライセンスを常にカウントした値が表示されます。

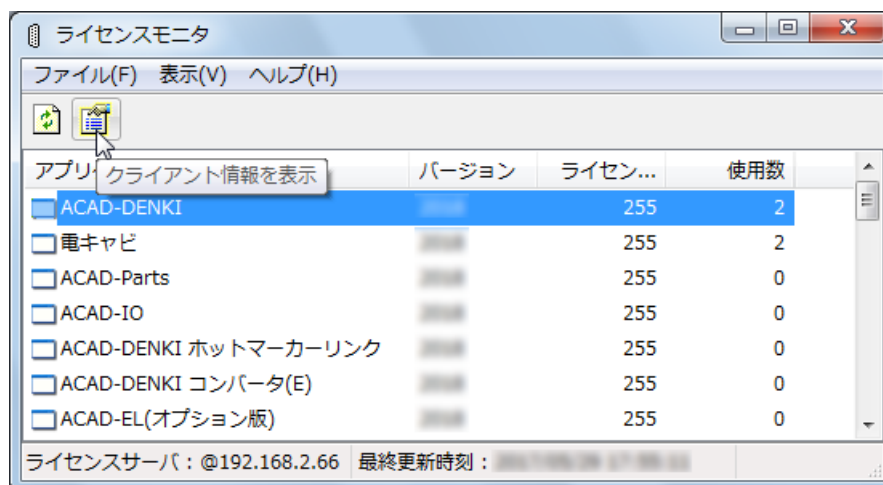
ただし、借用したライセンスかどうかの区別はつきません。クライアント情報から使用端末の確認を行ってください。

(ライセンスサーバーの表示について)

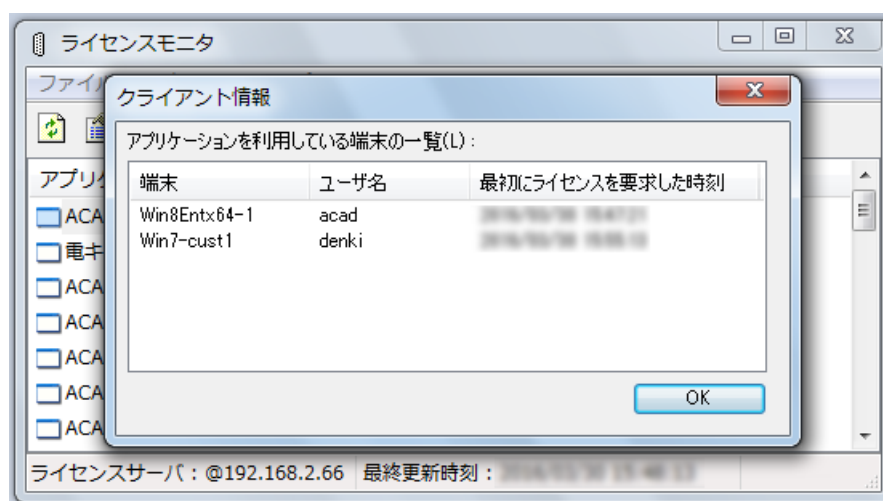
複数のライセンスサーバーを使用している場合、すべての登録サーバー名称を表示します。

また、分散サーバー構成の場合、「アプリケーション名」、および「ライセンス数」の欄には、各ライセンスサーバーに登録されているライセンスの総数を表示します。

「使用数」が 1 以上のアプリケーションに対して、「クライアント情報を表示(C)」でライセンスを使用している端末情報を確認することができます。



表示される情報は、「端末名」、「ログオンユーザー名」、「ライセンスを要求した時刻」です。



3. ライセンスの自動回収について

操作をしていないクライアントからのライセンスの自動回収について説明します。

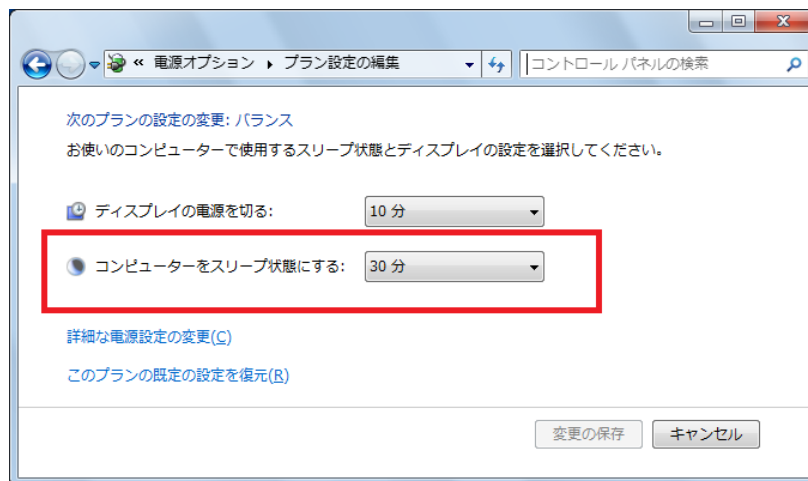
クライアント OS がスリープまたはサスペンド状態になる直前、サーバーにライセンスを返却します。

その後、スリープやサスペンド状態が解除されたとき、ライセンスを再取得します。再取得に失敗した場合は、エラーメッセージを表示すると共に、ライセンスが取得できるまで、1 分おきに再取得を行います。

ライセンスが再取得できない場合、1 分おきにエラーメッセージが表示されます。

スリープ設定は、OS の電源オプションにて行います。

[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源オプション] から、現在のプランの[プランの設定変更] から設定を編集します。



5. ライセンスの借用・返却(クライアント)

1. 概要

「FlexNet Publisher オプション」を別途インストールすることで、ライセンスの借用機能を使うことができます。

ライセンス借用にて、クライアントマシンがサーバーからネットワークライセンスを借用し(これにより使用可能なネットワークライセンス数が1つ減ります)、そのライセンスを指定した期間(最長180日間)クライアントマシンで使用することができます。借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントマシンから削除され、サーバーのライセンス数は1つ増えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。

(ご注意)

ライセンスの借用・返却は同一のログオンユーザーで行います。

ライセンス借用中、借用処理を行ったアカウント名を変更すると、借用期限が切れるまでライセンスの返却ができなくなります。

2. ライセンス借用の手順

ライセンスの借用を行うには、ライセンスを借用するクライアントマシンにて以下の手順を実行します。

1) ライセンスの借用・返却の起動

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンスの借用・返却]を起動します。

ライセンスの借用・返却

• 借用(B)

ライセンスの種類(L)

製品名	説明
<input type="checkbox"/> Tenaoshi Bugyo	手直し奉行

借用期間

• 期日を指定(A) 2014/07/18

※最長180日

• 日数を指定(D) 1

• 返却(R)

現在借用中のライセンスをすべて返却

OK キャンセル

2) ライセンスの借用申請

ライセンスを借用する製品にチェックをつけます。

ライセンスの借用・返却

• 借用(B)

ライセンスの種類(L)

製品名	説明
<input checked="" type="checkbox"/> Tenaoshi Bugyo	手直し奉行

借用期間

• 期日を指定(A) 2014/07/18

※最長180日

○ 日数を指定(D) 1

○ 返却(R)

現在借用中のライセンスをすべて返却

OK キャンセル

3) 借用期間の指定

指定方法として、カレンダーを使った期日指定と、日数指定があります。

(カレンダーを使った期日指定)

ライセンスの借用・返却

• 借用(B)

ライセンスの種類(L)

製品名	説明
<input checked="" type="checkbox"/> Tenaoshi Bugyo	手直し奉行

借用期間

• 期日を指定(A) 2014/09/30

※最長180日

○ 日数を指定(D)

○ 返却(R)

現在借用中のライセンスをすべて返却

OK キャンセル

(使用する日数を指定)

ライセンスの借用・返却

• 借用(B)

ライセンスの種類(L)

製品名	説明
<input checked="" type="checkbox"/> Tenaoshi Bugyo	手直し奉行

借用期間

• 期日を指定(A) 2014/10/15

※最長180日

• 日数を指定(D) 90

• 返却(R)

現在借用中のライセンスをすべて返却

OK キャンセル

※ 最長の借用日数は 180 日です。

4) ライセンスの借用

借用期間の指定後、[OK]ボタンをクリックし、借用を申請します。

ライセンスの借用・返却

• 借用(B)

ライセンスの種類(L)

製品名	説明
<input checked="" type="checkbox"/> Tenaoshi Bugyo	手直し奉行

借用期間

• 期日を指定(A) 2014/09/30

※最長180日

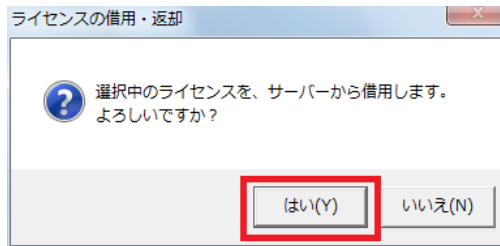
• 日数を指定(D) 75

• 返却(R)

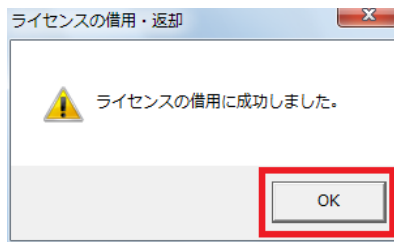
現在借用中のライセンスをすべて返却

OK キャンセル

借用申請の実行確認のメッセージを表示しますので、[はい]ボタンをクリックします。

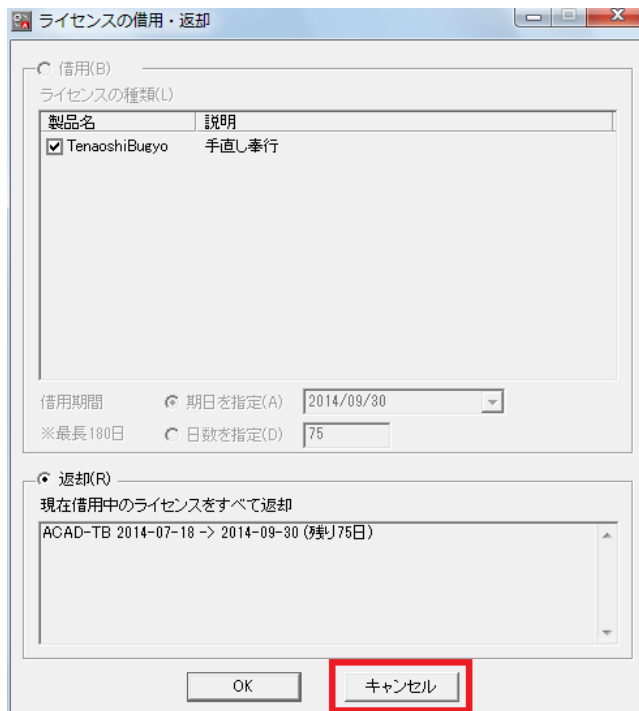


借用が許可されると、以下のメッセージが表示されますので [OK]ボタンをクリックします。



ライセンスの借用・返却ダイアログが再表示され、借用中のライセンスを確認することができます。

ライセンスを借用しましたので、[キャンセル]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。



ライセンスの借用期限を再確認したい場合は、[ライセンスの借用・返却]を再実行してください。

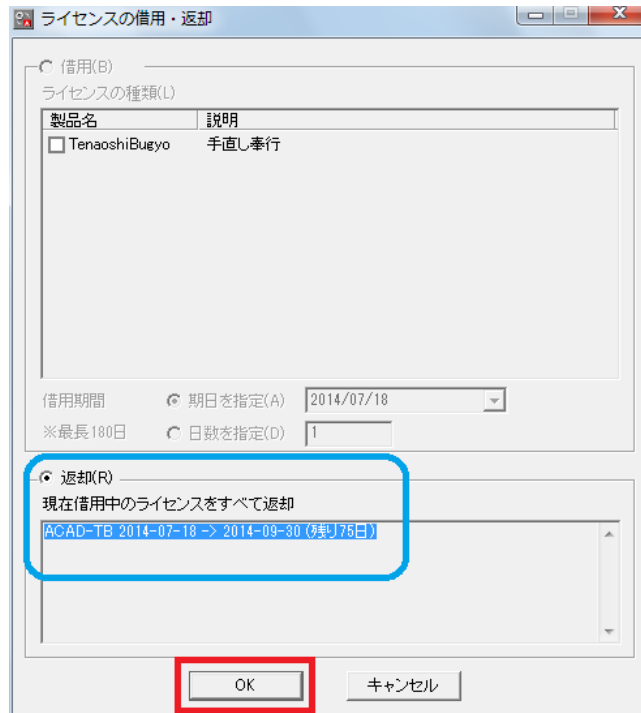
借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントマシンから削除され、サーバーのライセンス数は1つ増えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。

3. 借用期限前にライセンスを返却

クライアントマシンにて以下の手順を行うことにより、借用したライセンスを借用期限前にサーバーに返却することができます。

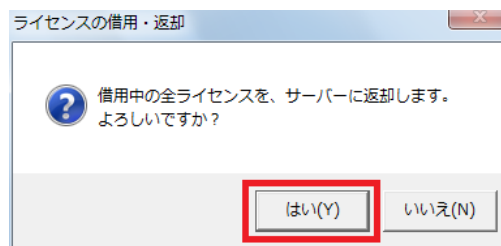
1) ライセンスの借用・返却の起動

ライセンスを借用したライセンスサーバーが存在するネットワークに接続してから、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンスの借用・返却]を起動し、借用内容を確認してから [OK] ボタンをクリックします。



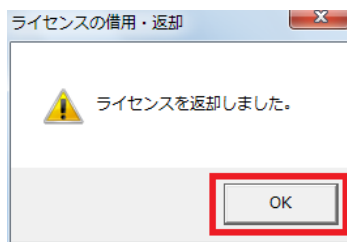
2) ライセンスの返却申請

返却の実行確認メッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。



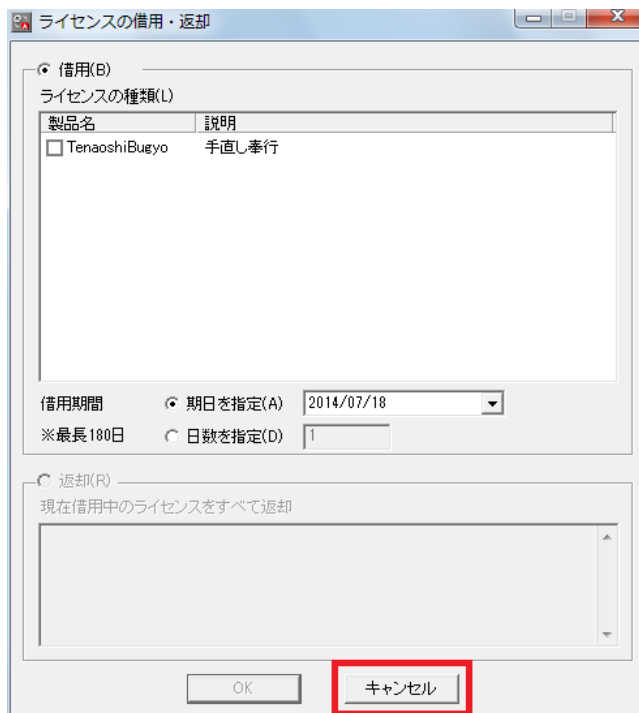
3) ライセンスの返却

借用ライセンスが返却されると、以下のメッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



ライセンスの借用・返却ダイアログが再表示され、借用中のライセンスが無いことが確認できます。

[キャンセル]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。



<<このページは白紙です>>

V. 付録

1. インストールメディアの内容について

本製品のインストールメディアには以下のものが含まれています。

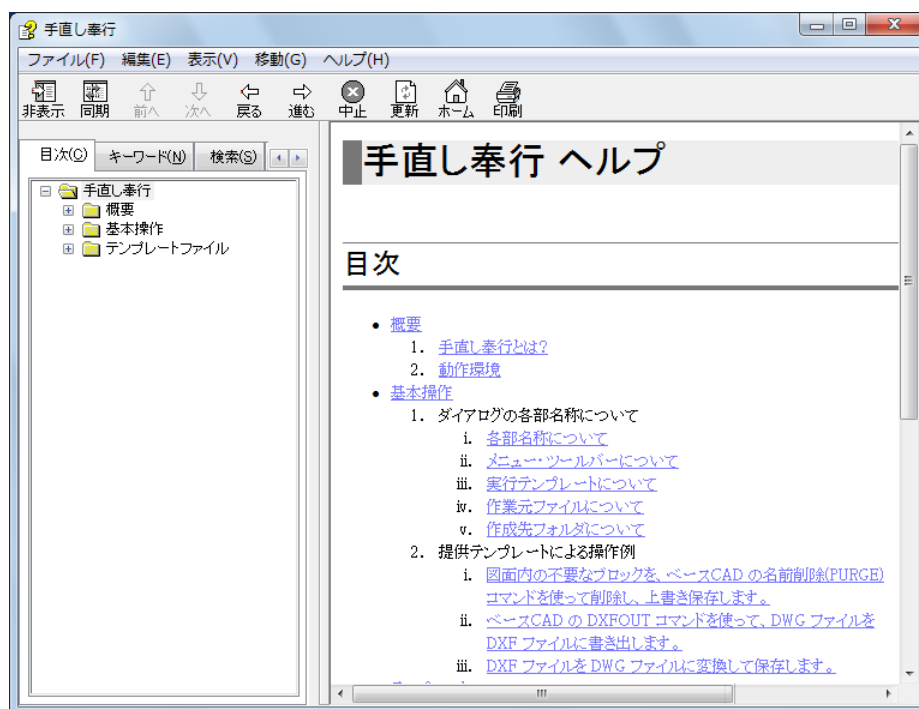
ディレクトリ	内容
DOC¥	本ユーザーガイド(pdf)
MISC¥	(空)

2. マニュアル

本ソフトの操作マニュアルはオンラインマニュアルです。

1. 手直し奉行ヘルプ

本ソフトを起動して、メニューの [ヘルプ] をクリックしてください。



(画面は実際とは異なる場合があります)

2. ユーザーガイド

インストール、初期設定などは本マニュアルを参照してください。

手直し奉行 ユーザーガイド

2017 年 6 月

第 6 版発行

発行者

アルファテック株式会社
06-6300-0306(代表)
<http://www.alfatech.jp/>
[mail:support@alfatech.jp](mailto:support@alfatech.jp)
